

Honeywell HDCS
映像監視システム
ユーザーマニュアル

目次

1	概要と環境	1
	概要.....	1
	性能.....	2
	環境.....	2
2	インストールと初期化	3
	インストール.....	3
	ポリシー確認.....	6
	初期化.....	7
3	Setting [設定]	9
	ログインインターフェース.....	9
	メインインターフェース.....	10
	ユーザー.....	12
	役割を追加する.....	13
	役割を修正する.....	14
	役割を削除する.....	14
	ユーザーの追加.....	14
	ユーザーを修正.....	16
	ユーザーを削除する.....	16
	ユーザーを切り替える.....	17
	Device[デバイス].....	17
	デバイスを追加する.....	17
	デバイスを修正する.....	22
	デバイスを削除する.....	22
	デバイス設定.....	24
	イベント構成.....	26
	通知.....	29
	リンク映像.....	30
	アラーム出力.....	32
	防護時間.....	33
	イベントビュー.....	34
	ツアーおよびタスク.....	36
	タスクプランを追加する.....	36
	タスクプランを修正する.....	40
	タスクプランを削除する.....	40
	システム構成.....	40
4	ライブビュー	45
	ライブビュー.....	46

	映像設定	49
5	再生	50
	デバイスの録画を再生します。	52
	スマート検索	55
	映像設定	56
	デバイスの画像を再生します。	58
	ローカルの録画を再生します。	60
	ローカルの画像を再生します。	61
	デバイスの録画をエクスポートします。	62
	デバイスの画像をエクスポートします。	64
	ローカルの録画をエクスポートします。	64
6	ログ	66
	クライアントログ	67
	デバイスログ	68
7	アドバンス	69
	ビデオウォール	69
	お気に入りの構成	70
	ビデオウォールと出力をセットする	73
	ツアーを設定する	75
	E マップ	77
	新しい E マップを追加する	78
	E マップを修正する	81
	E マップを削除する	83
	E マップのライブビュー	84

ようこそ

弊社の映像監視システム HDCS をお選びいただき、ありがとうございます。

このユーザーマニュアルは、システムを操作するための方法をサポートします。

HDCS についての詳細な操作情報を記載しています。

1 概要と環境

この章は以下の項で構成されています：

- [概要 ページ1](#)
- [性能 ページ2](#)
- [環境 ページ2](#)

概要

HDCS は、セキュリティ監視装置を効率的かつ便利に管理するために、DVR、NVR、およびデコーダ用に設計された映像監視システムです。ライブビュー、再生、ダウンロード、ビデオウォール、E マップ、およびその他のサービスに対応しています。HDCS の主な機能は、以下の通りです。

- 複数のカメラチャンネルでリアルタイムに映像を視聴する
- さまざまなカメラの再生映像ファイルを視聴する
- 自動 PC ガードを認識するための複数のスケジュールツールをサポート
- E マップをサポート：異なった場所にあるすべてのデバイスを鮮明に表示、管理します。
- ビデオウォールプランセットアップのサポート：映像をビデオウォールに出力します。
- 拡張アプリケーションのサポート：警告情報を外部プログラムに送信します。

性能

システムは、256 台のレコーダーと 2000 の映像チャンネル、1 つのスクリーンで 64 チャンネルまで、4 つのスクリーンでは最大 256 チャンネルのライブビューに対応します。

環境

表 1-1

項目	スペック要件
OS	Windows 7/Windows 8.1/Windows 10
CPU	Intel® Core™ 2 Duo 3.0GHz 以上、Core i3-4150 3.5GHz 以上を推奨（64ch ライブビュー用）
ディスプレイカード	Intel HD グラフィック 4400 同等以上、DirectX 9.0 以降をサポート
ネットワークカード	100Mbps 以上（1Gbps を推奨）
メモリ	4GB 以上を推奨（64ch ライブビュー用）
ディスプレイ解像度	1024x768 以上
ハードドライブ	80GB 以上のフリースペース

2 インストールと初期化

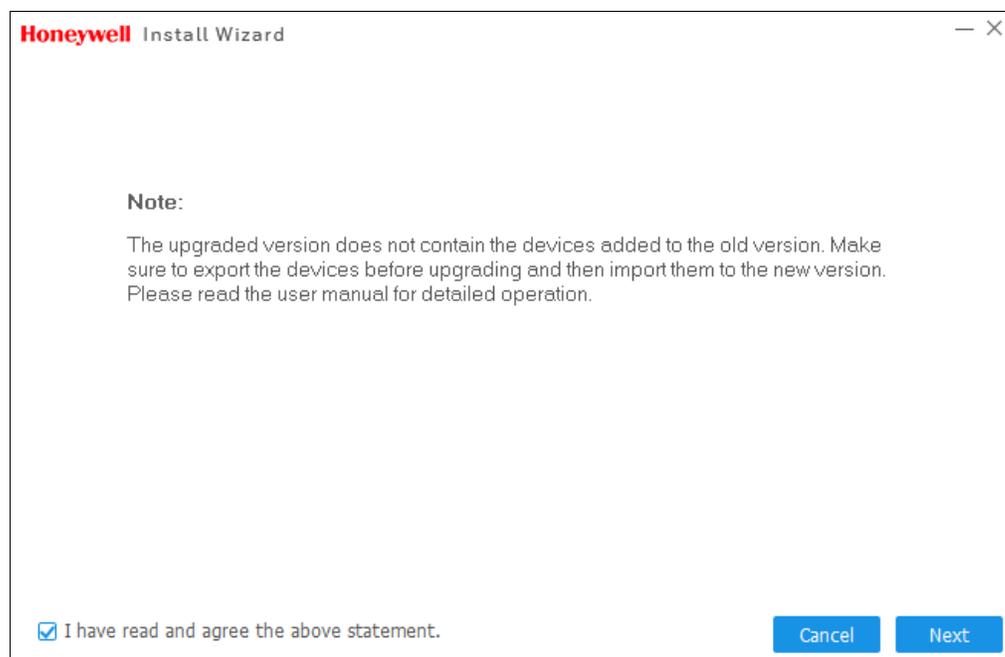
この章は以下の項で構成されています：

- [インストールページ 3](#)
- [初期化ページ 7](#)

インストール

1. 「HDCS_Setup.exe」をダブルクリックします。以下のウィンドウが表示されます。

図 2-1



2. 初めてお使いになる方は、「注 [Note]：使用中の方へ」を無視して注[Note]をよく読んでください。下のチェックボックスにチェックしてから Next [次へへ]をクリックして続行してください。

図 2-2

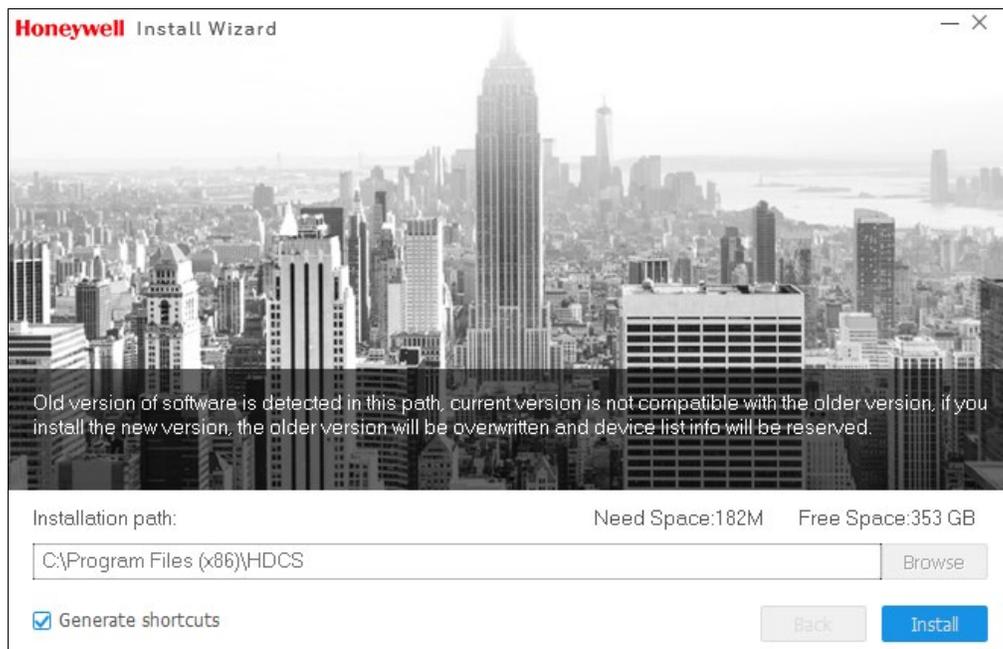


3. 言語を選んで Agreement [同意] チェックボックスをチェックしてください。Next [次へ] をクリックして続行してください。



4. HDCS チェックボックスにチェックして Next [次へ] をクリックして続行してください。

図 2-3



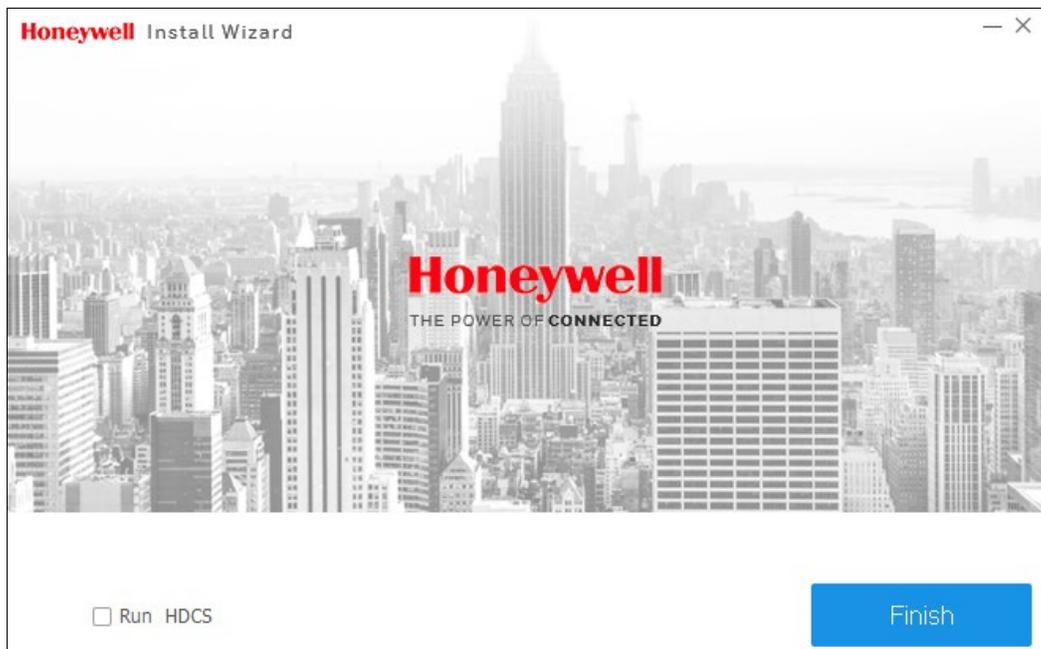
5. インストールするパスを選んでから、Install [インストール]をクリックして続行してください。

図 2-4



6. インストールプロセスの途中で、**Cancel [キャンセル]**ボタンをクリックして中断することができます。インストールの後、以下のウィンドウが表示されます。

図 2-5

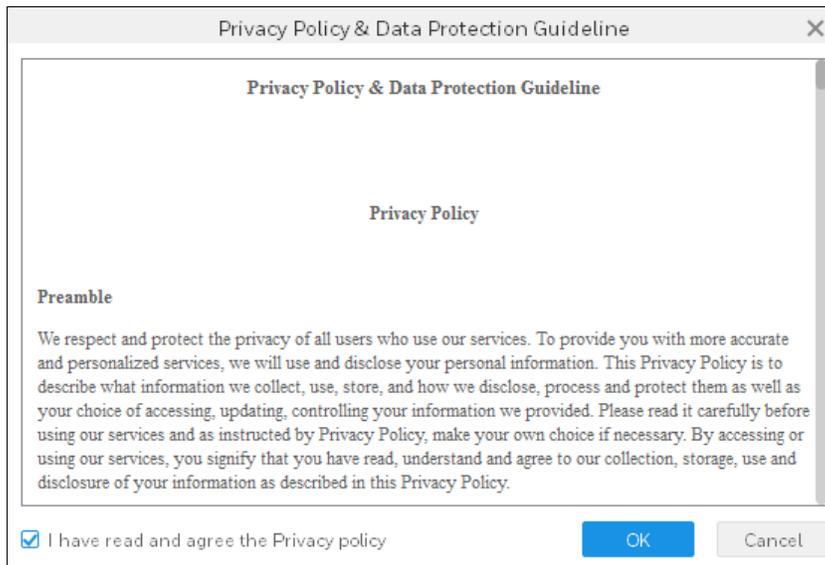


7. インストールを完了するには **Finish [終了]**をクリックします。

ポリシー確認

ソフトウェアを最初に立ち上げた時、プライバシーポリシーと保護ガイドラインウィンドウが確認のために表示されます。下のチェックボックスをクリックし、**OK** をクリックして続行してください。ポリシーのソースファイルはインストールパスの中にあります。**Cancel [キャンセル]** をクリックすると HDCS ソフトウェアを終了することになります。

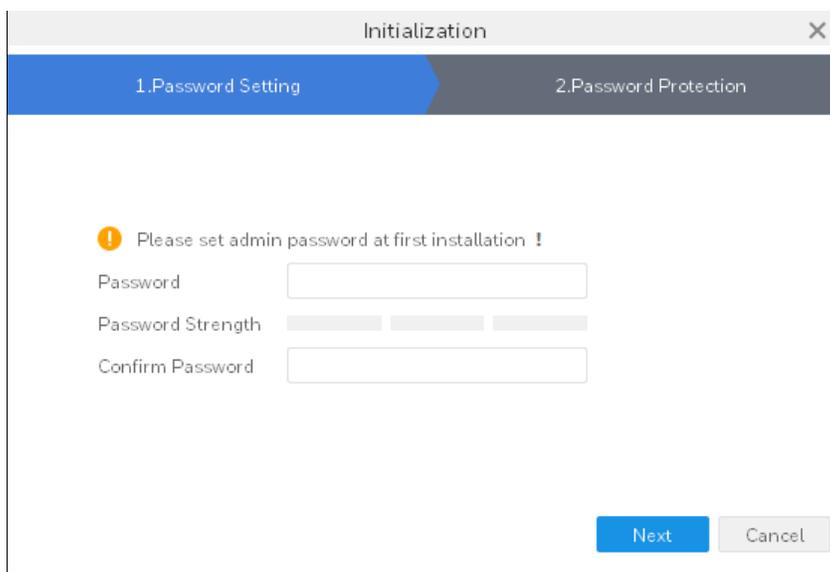
図 2-6



初期化

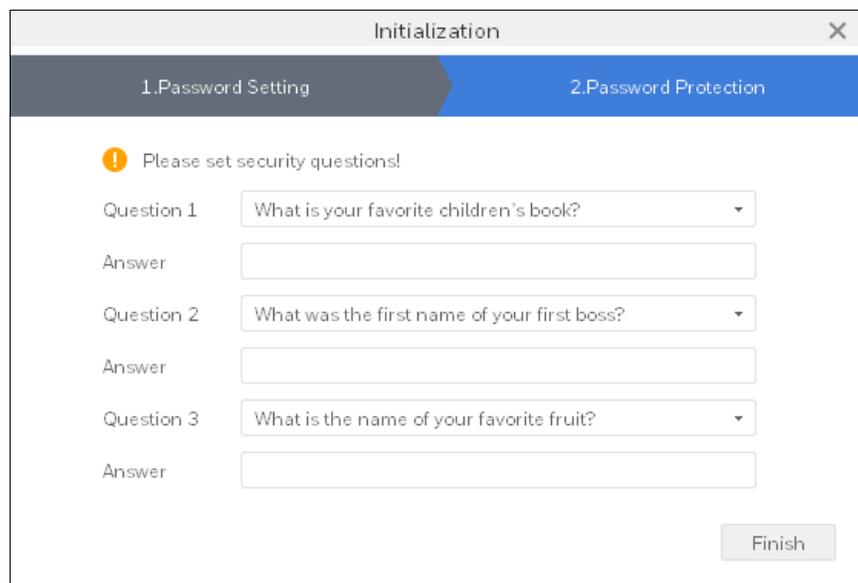
始める前に、パスワードを設定する初期化を完了したことを確認してください。

図 2-7



1. ログインパスワードを設定し、パスワードを確認してください。Next [次へ]をクリックします。

図 2-8



The screenshot shows a window titled "Initialization" with a close button (X) in the top right corner. The window has two tabs: "1.Password Setting" (selected) and "2.Password Protection". Below the tabs, there is a warning icon (exclamation mark in a yellow circle) and the text "Please set security questions!". There are three sets of questions, each with a dropdown menu for the question and a text input field for the answer. The questions are: "Question 1: What is your favorite children's book?", "Question 2: What was the first name of your first boss?", and "Question 3: What is the name of your favorite fruit?". A "Finish" button is located at the bottom right of the window.

2. 秘密の質問を設定し、Finish [終了]をクリックして初期化を完了してください。

3 Setting [設定]

この章は以下の項で構成されています：

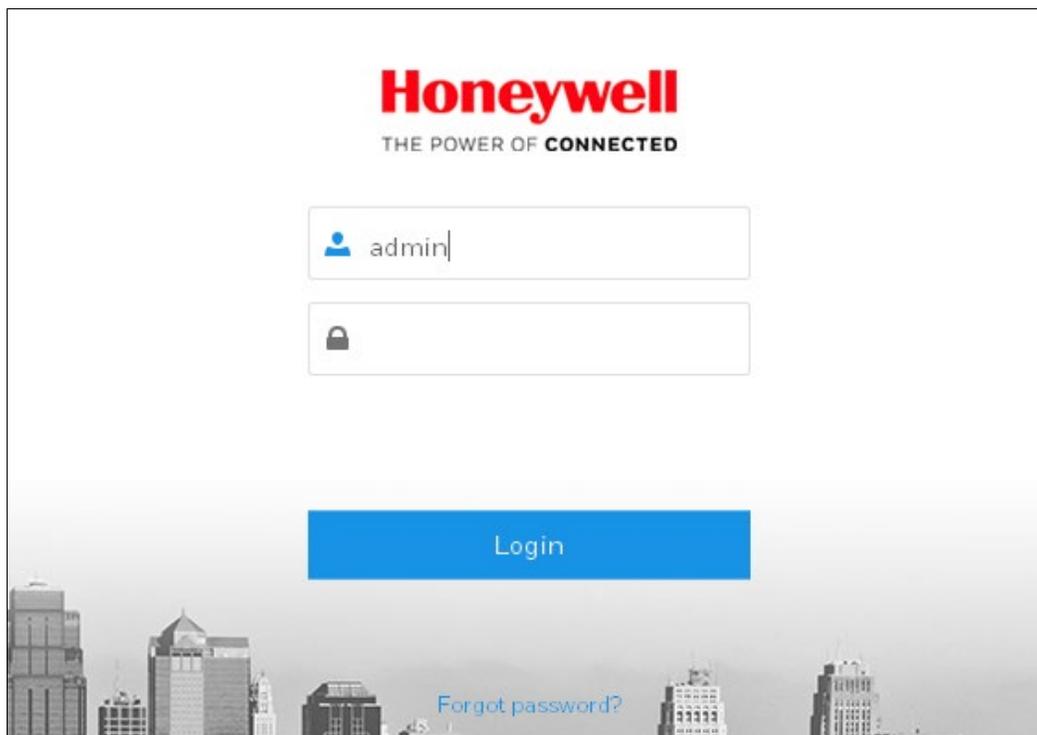
- [ログインインターフェース](#) ページ 9
- [メインインターフェース](#) ページ 10
- [ユーザー](#) ページ 12
- [Device\[デバイス\]](#) ページ 17
- [デバイス設定](#) ページ 24
- [イベント構成](#) ページ 26
- [ツアーおよびタスク](#) ページ 36
- [システム構成](#) ページ 40

ログインインターフェース



HDCS アイコン  をダブルクリックするとログインインターフェースが表示されます。

図 3-1



 : ユーザーアカウントを入力します。

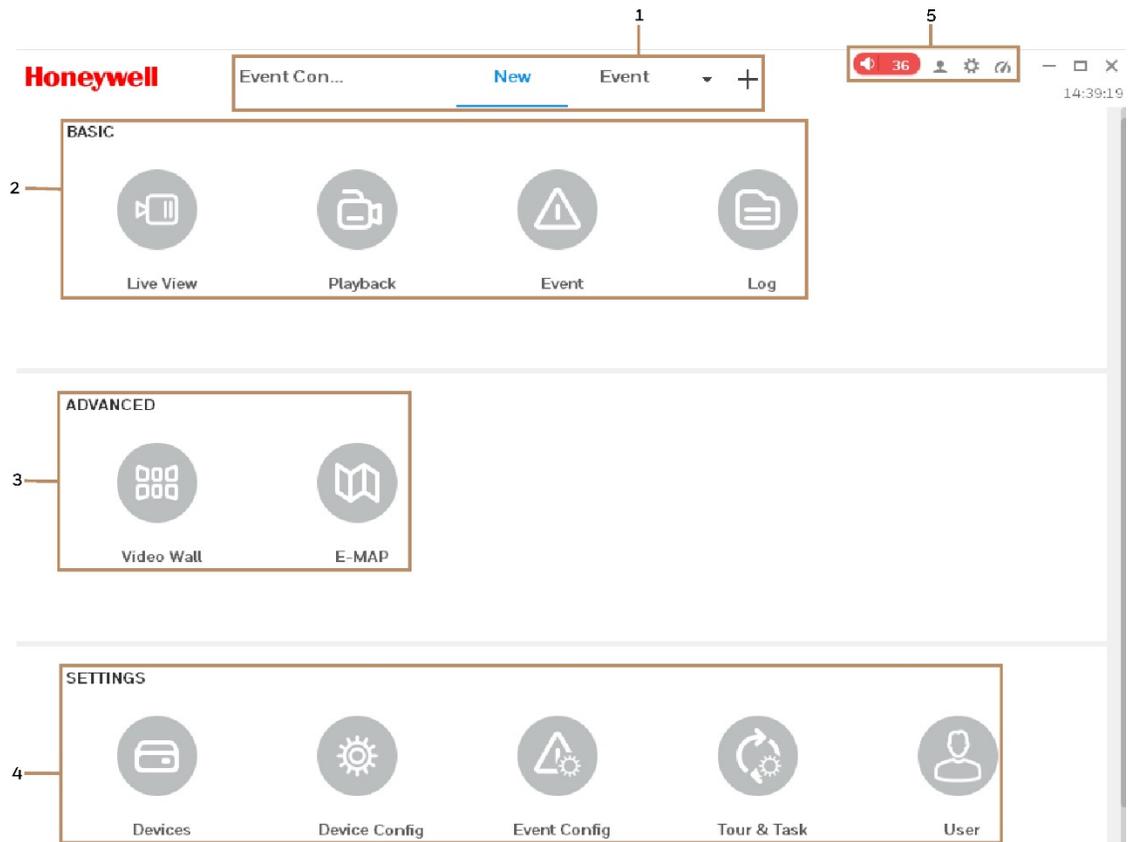
 : 対応するパスワードを入力してログインします。

注 HDCS を初めてお使いになる場合、デフォルトのユーザー名とパスワードの両方が“admin”[管理者]となっています。この“Admin”[管理者]は全権限を持つ管理者であり、削除できません。他のユーザーの追加、変更、または削除を行うことができません。

メインインターフェース

Login [ログイン]をクリックして、メインインターフェースに移動します。

図 3-2



詳細情報については、以下のシートを参照してください。

表 3-1

SN	パラメータ	機能
1	Menu [メニュー]	ここにはメインページアイコンと現在開いている機能アイコンが表示されます。 トップペインに機能アイコンを追加するには、+ ボタンをクリックします。
2	Basic [ベーシック]	Live View [ライブビュー]、Playback [再生]、Event [イベント]、および Log [ログ]を含みます。
3	Advanced [アドバンス]	Video Wall [ビデオウォール]および E-map [E マップ]を含みます。
4	Settings [設定]	デバイス、デバイス CFG、ツアーとタスク、ビデオウォール、アカウントなどを含みます。
5	その他の情報	ソフトウェアバージョン、システム構成、および CPU と RAM の占有状態を表示します。

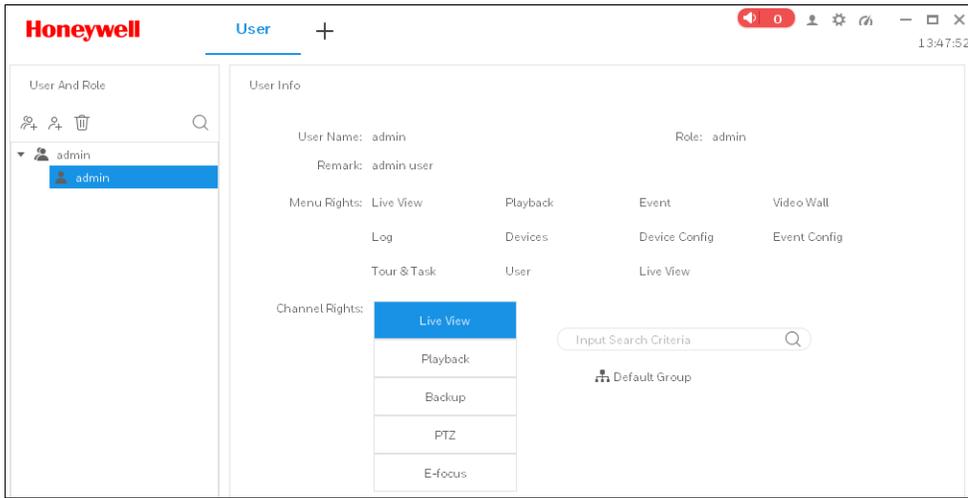
ユーザー

システムユーザーと役割を追加、変更、削除できます。ユーザーの権限と役割の権限も設定できます。



図3-2にある SETTINGS [設定]ペインの  をクリックして下記のインターフェースに移動します。

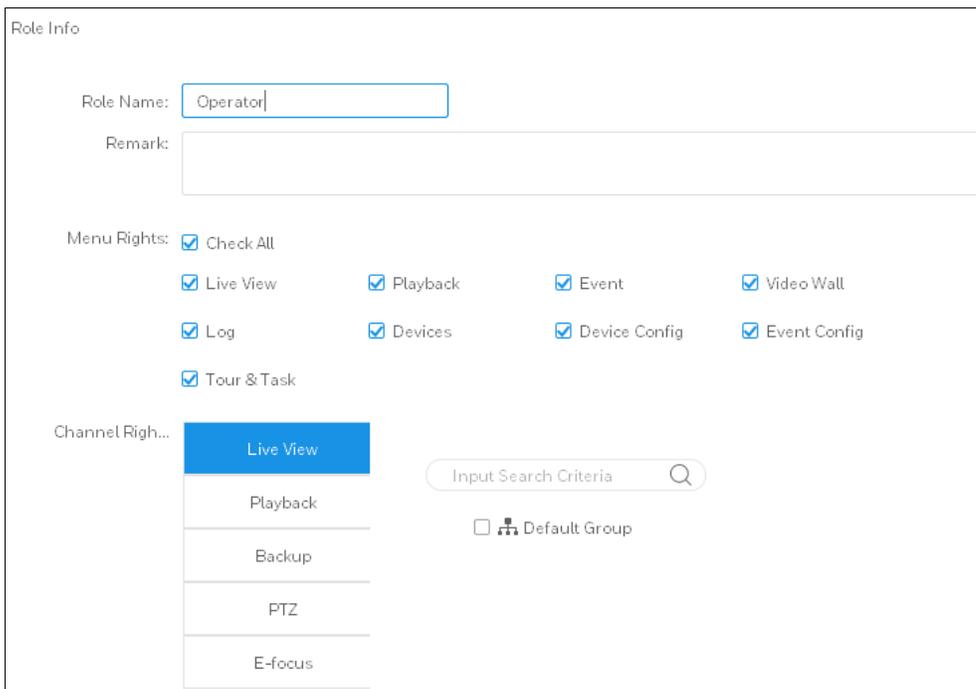
図 3-3



役割を追加する

1. 図3-3にある  をクリックすると下記のインターフェースが表示されます。

図 3-4



2. 役割の名前を入力して、役割に対応するメニューにある権利をクリックします。必要であれば備考を入力します。
3. チャンネルの権利を選択して **Save [保存]** をクリックします。

注

- デフォルトの役割である**管理者**は変更、削除できません。
- 対応する役割のユーザーがクライアントにログインした場合は、システムは承認されているメニューの権利のみを示します。

役割を修正する

役割を選んで  をクリックして役割を修正します。

役割を削除する

役割を選んで  をクリックします。

ユーザーの追加

1. [図3-3](#)にある  をクリックすると下記のインターフェースが表示されます。

図 3-5

The screenshot displays the 'User And Role' management interface. On the left, a sidebar titled 'User And Role' shows a list of users, with 'admin' selected. The main area, titled 'User Info', contains the following fields and options:

- User Name:** User Name 1
- Role:** admin (dropdown menu)
- Password:** [Redacted]
- Confirm Password:** [Redacted]
- Remark:** [Empty text area]
- Menu Rights:** A grid of checkboxes, all of which are checked:
 - Check All
 - Live View
 - Playback
 - Event
 - Video Wall
 - Log
 - Devices
 - Device Config
 - Event Config
 - Tour & Task
 - User
 - Live View
- Channel Righ...:** A list of channel rights with 'Live View' selected. Other options include Playback, Backup, PTZ, and E-focus.
- Search:** An input field for 'Input Search Criteria' with a search icon.
- Default Group:** A checkbox labeled 'Default Group' which is currently unchecked.
- Buttons:** 'Save' and 'Cancel' buttons at the bottom right.

2. ユーザーパラメータの設定には下記の表を参照してください。

表 3-2

パラメータ	詳細
Username [ユーザー名]	ユーザー名を入力します。ユーザー名は設定済のユーザー名と同じにはできません。
Role [ロール]	ドロップダウンリストからユーザーの役割を選んでから、  をクリックして新しい役割を追加してください。
Password [パスワード]	ユーザーのパスワードを入力してから、パスワードを確認してください。
Confirm [確認する]	確認してください。
Remark [備考]	ユーザー情報の記述
Menu Rights [権限メニュー]	現在のユーザーに対応する権利を選択する為に、ボックスにチェックを入れます。 新規ユーザーの役割が管理者の場合、デフォルトですべての権利がチェックされています。
Channel Rights [チャンネル権限]	ユーザーのチャンネル権限を選択します。

3. **Save [保存]** をクリックします。

ユーザーを修正

ユーザーを選択して、ユーザーを修正するには  をクリックします。

ユーザーを削除する

ユーザーを選択して、 をクリックします。

ユーザーを切り替える

ユーザーを切り替えるには、[図3-2](#)の右上角の  をクリックしてユーザー切り替えを選びます。

Device[デバイス]

1つのデバイスか、または複数のデバイス（例、DVR、NVR）を自動的に、または手動で追加することができます。

注 IPカメラを追加することは推奨しません。

デバイスを追加する

デバイスの追加には、次の3通りの方法があります。

1. 自動デバイス追加
2. 手動デバイス追加
3. デバイス群のインポート



[図3-2](#)にある **SETTINGS [設定]** ペインの **Devices** をクリックして下記のインターフェースに移動します。

図 3-6

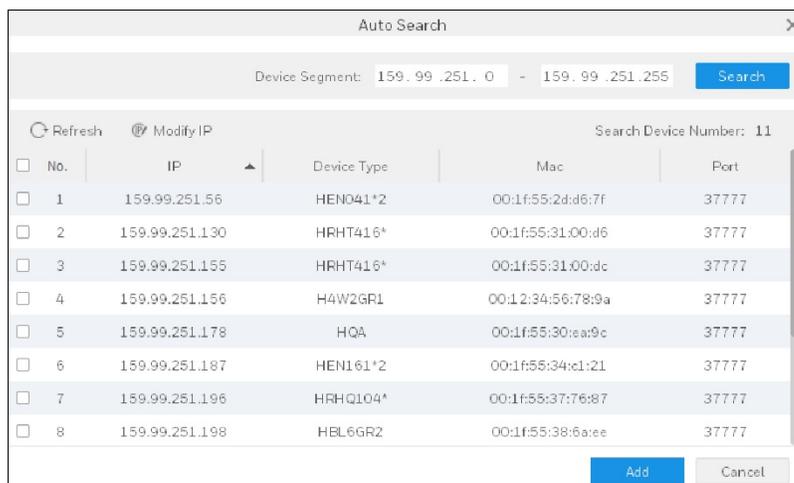


デバイスを自動的に追加する

自動デバイス追加は、デバイスの IP セグメントによりデバイスを検索するために使用します。

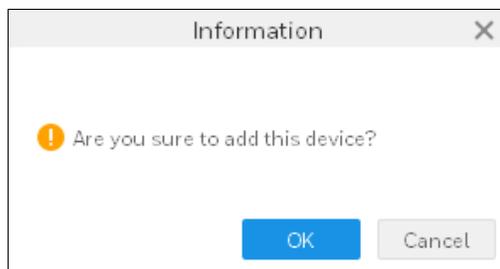
1. [図 3-6](#) にある **Auto Search [自動検索]** をクリックすると下記のウィンドウが表示されます。

図 3-7



2. セグメントにあるデバイスを検索するには、デバイスの IP セグメントを設定して、**Search [検索]** をクリックします。
3. 追加したいデバイスにチェックを付けて **Add [追加]** をクリックします。確認画面がポップアップします。

図 3-8



4. **OK** をクリックするとログイン画面がポップアップします。ユーザー名とパスワードを入力します。

図 3-9

5. OK をクリックするとデバイスリストに追加したデバイスが表示されます。

図 3-10

No.	Name	IP/Domain Name	Device Type	Device Model	Port	annel Numl	Inline Statu	SN	Operation
<input type="checkbox"/> 1	159.99.251.193	159.99.251.193	DVR	HRHQ1080L	37777	12/0/0/0	● Online	A331000002	

6. デバイスの IP を修正するには、[図 3-7](#) にあるデバイスを選択して **Modify IP [IP の修正]** をクリックします。

図 3-11

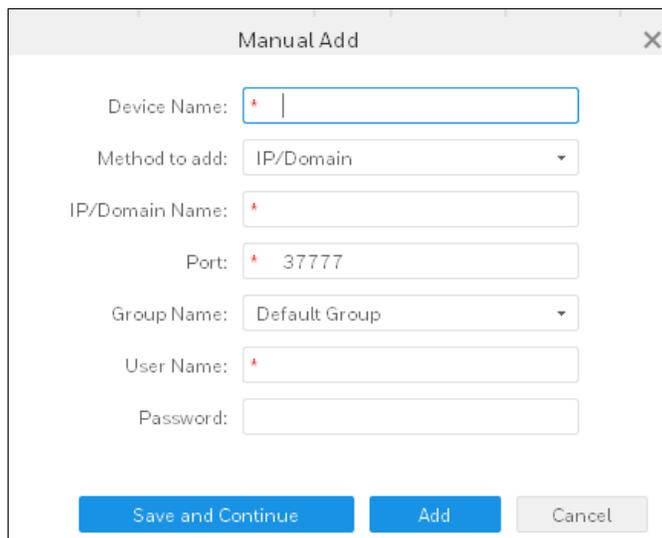
7. 新しい IP、sub mask [サブマスク]、gateway [ゲートウェイ]を入力します。Save [保存] をクリックします。

手動でデバイスを追加する

手動でのデバイス追加は単一デバイスの追加に適用します。

1. [図 3-6](#) にある Add [追加] をクリックします。下記のウィンドウが表示されます：

図 3-12



The image shows a 'Manual Add' dialog box with the following fields and controls:

- Device Name: * [Text input field]
- Method to add: IP/Domain [Dropdown menu]
- IP/Domain Name: * [Text input field]
- Port: * 37777 [Text input field]
- Group Name: Default Group [Dropdown menu]
- User Name: * [Text input field]
- Password: [Text input field]
- Buttons: Save and Continue, Add, Cancel

2. 対応する情報を入力して、**Add [追加]**をクリックします。
3. **Save and Continue [保存して続行]**をクリックして次のデバイスを追加します。終了するには **Cancel [キャンセル]**をクリックします。

デバイスのバッチインポート

前もってデバイスの構成ファイルを準備できます。そしてそれをシステムにインポートします。

1. 図3-6 の **Import [インポート]**をクリックします。下記のウィンドウが表示されます：

図 3-13



The image shows a 'Device Import' dialog box with the following elements:

- Local [Selected Tab] | From Honeywell DDNS [Tab]
- Local Path: [Text input field with file icon]
- Buttons: Import, Cancel

- デバイス構成ファイル（.xml フォーマット）をローカルで選択するには **Local [ローカル]**タブをクリックします。

- From Honeywell DDNS[Honeywell DDNS から]をクリックして、デバイスのユーザー名とパスワードを入力します。
2. Import [インポート]をクリックします。デバイスが正常にインポートされるとシステムはメッセージを示します。OK をクリックします。

デバイスが追加されると、システムは自動的にログインします。ログインに成功するとオンライン状態がオンラインを示します。それ以外は「オフライン」を示します。

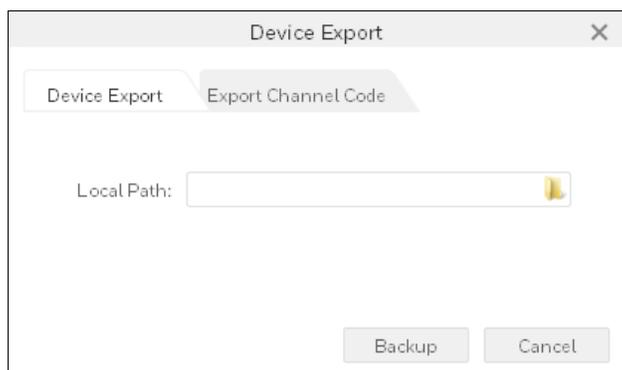
- デバイスを修正するには  をクリックします。
- デバイス構成インターフェースに移動するには  をクリックします。
- 手動でデバイスからログアウトするには  をクリックします。
- 手動でデバイスにログインするには  をクリックします。
- デバイスを削除するには  をクリックします。
- チャンネル番号を修正するには  をクリックします。

バックアップ

すべてのデバイスの構成ファイルをバックアップすることができます。

1. [図3-6](#) で、Backup [バックアップ]をクリックします。下記のウィンドウが表示されます：

図 3-14



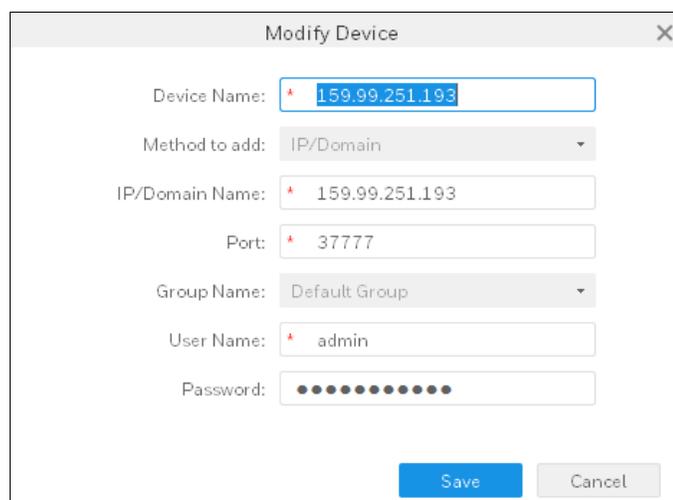
- Device Export [デバイスエクスポート]タブをクリックします。ターゲットパスを選択して Backup [バックアップ]をクリックします。エクスポートされたファイルはユーザー名、ポート、および IP/ドメイン名を含んでいます。

- **Export Channel Code** [エクスポートチャンネルコード]タブをクリックします。ターゲットパスを選択して **Backup** [バックアップ]をクリックします。エクスポートされたファイルは、デバイス名、IP、チャンネル名、およびチャンネル番号を含んでいます。

デバイスを修正する

1. [図3-6](#) で、修正したいデバイスの修正アイコン  をクリックします。下記のウィンドウが表示されます：

図 3-15



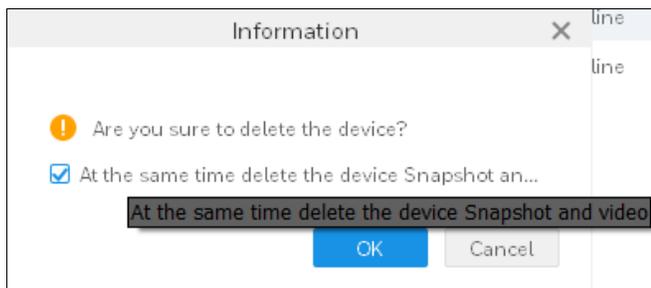
2. デバイス情報を変更して、**Save** [保存]をクリックします。

デバイスを削除する

単一削除

1. デバイスを選択して、[図3-10](#) にある  をクリックします。下記のウィンドウが表示されます：

図 3-16

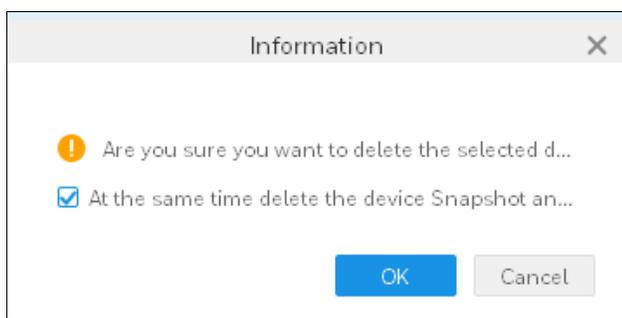


2. をクリックします。同時に必要であればデバイスのスナップショットと映像を削除して、デバイスを削除するために OK をクリックします。

バッチ削除

1. 1 つ以上のデバイスを選択して、[図 3-10](#) にある Delete [削除] をクリックします。下記のウィンドウが表示されます：

図 3-17



2. をクリックします。同時に必要であればデバイスのスナップショットと映像を削除して、デバイスを削除するために OK をクリックします。

注

テキスト全体を入手するには、完了していない表示テキスト上にマウスを置きます。[図 3-16](#) を参照してください。

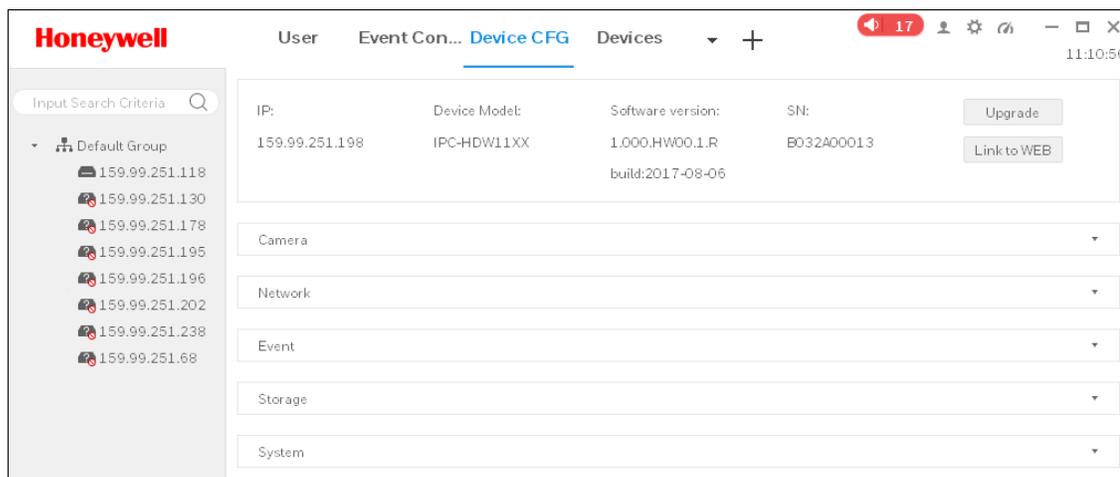
デバイス設定

デバイスのソフトウェアバージョンをアップデートできます。ウェブバージョンにログインしてカメラ、ネットワーク、PTZ、イベント、保存、デバイスのシステムを設定します。



図3-2にある SETTINGS [設定] ペインにある Device CFG をクリックして下記のインターフェースに移動します。

図 3-18



Upgrade [アップグレード]：デバイスのソフトウェアをアップグレードするには、デバイスを選択して Upgrade [アップグレード] をクリックします。

Link to WEB [ウェブにリンクする]：ウェブバージョンにログインするには、デバイスを選択して Link to WEB [ウェブにリンク] をクリックします。

Camera [カメラ]

オプションを拡張するには、Camera [カメラ] をクリックします。

図 3-19



詳細なパラメータをそれぞれに対応して更に設定するには個々のタブをクリックします。

ネットワーク

オプションを拡張するには、**Network [ネットワーク]**をクリックします。

図 3-20

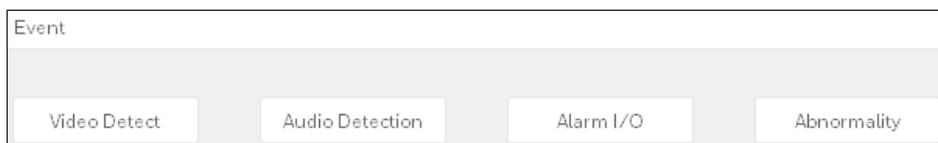


詳細なパラメータをそれぞれに対応して更に設定するには個々のタブをクリックします。

イベント

オプションを拡張するには、**Event [イベント]**をクリックします。

図 3-21

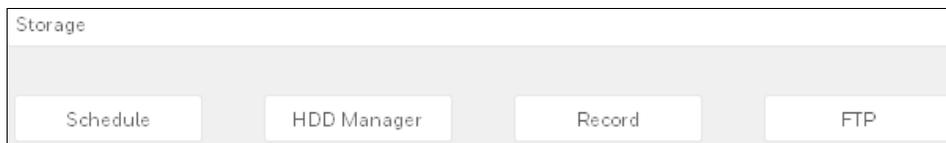


詳細なパラメータをそれぞれに対応して更に設定するには個々のタブをクリックします。

ストレージ

オプションを拡張するには、**Storage [ストレージ]**をクリックします。

図 3-22

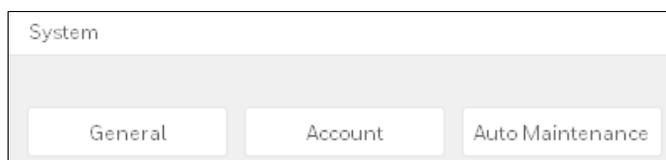


詳細なパラメータをそれぞれに対応して更に設定するには個々のタブをクリックします。

システム

オプションを拡張するには、System [システム]をクリックします。

図 3-23



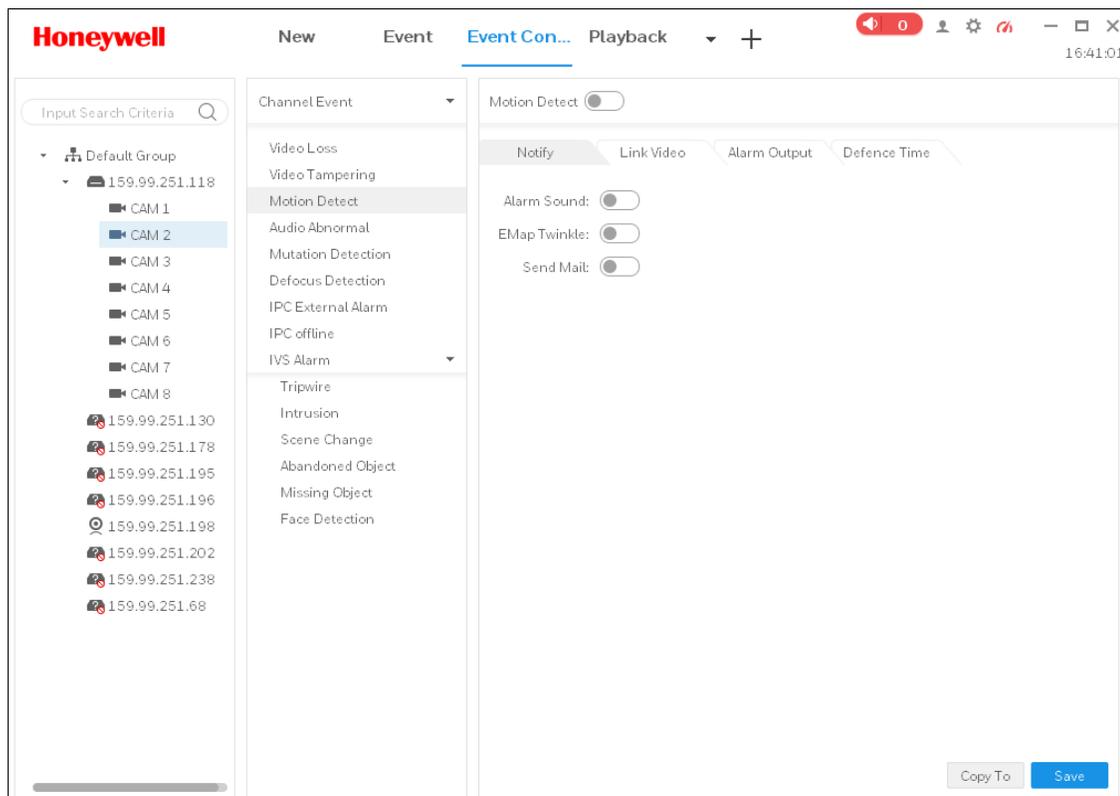
詳細なパラメータをそれぞれに対応して更に設定するには個々のタブをクリックします。

イベント構成



図 3-2 にある SETTINGS [設定]ペインの Event Config をクリックして下記のインターフェースに移動します。

図 3-24



異なるデバイスに基づいてイベントは様々に表示されました。詳細情報については、以下の表を参照してください。

表 3-3

イベントタイプ	イベント	詳細
チャンネルイベント	Video Loss [映像ロス]	ネットワークが異常です。
	Video Tampering [映像タンパリング]	映像がタンパリングされました。
	Motion Detect [モーション検出]	オブジェクトは移動中です。
	Audio Abnormal [オーディオ異常]	オーディオ接続が異常です。

Mutation Detection [ミューテーション検出]	音声が突然変わりました。	
Defocus detect [ピンぼけ検出]	ピンぼけが起きました。	
IPC External Alarm [外部アラーム]	NVR/HCVR 用のみ NVR/HCVR に接続されている IPC の外部アラーム入力をチェックしてください。	
IPC Offline Alarm [オフラインアラーム]	NVR/HCVR 用のみ IPC が NVR/HCVR から外れた時、イベントが発生します。	
Tripwire [トリップワイヤー]	セットされた方向からオブジェクトがラインを横切った時	
交差警告ゾーン	オブジェクトがエリアに入った、またはエリアから出た時、あるいはターゲットオブジェクトが領域に現れた時	
Scene Change [シーン変更]	シーンが変更された時	
IVS Alarm [アラーム]	放置物検出	ユーザーによりセットされた目標時間以上を残してモニタリング画面が離れた時
	紛失物検出	モニタリング画面が一定時間を超えて取り去られた時
Face detection [顔認識]	モニタリング画面が人物の顔を検出した時	
Loitering detection [徘徊検出]	セットされた時間を超えて目標オブジェクトがモニタリングエリアに連続して現れた時	
Crowd Gathering Estimation	集団がモニタリングエリアに集まった時	

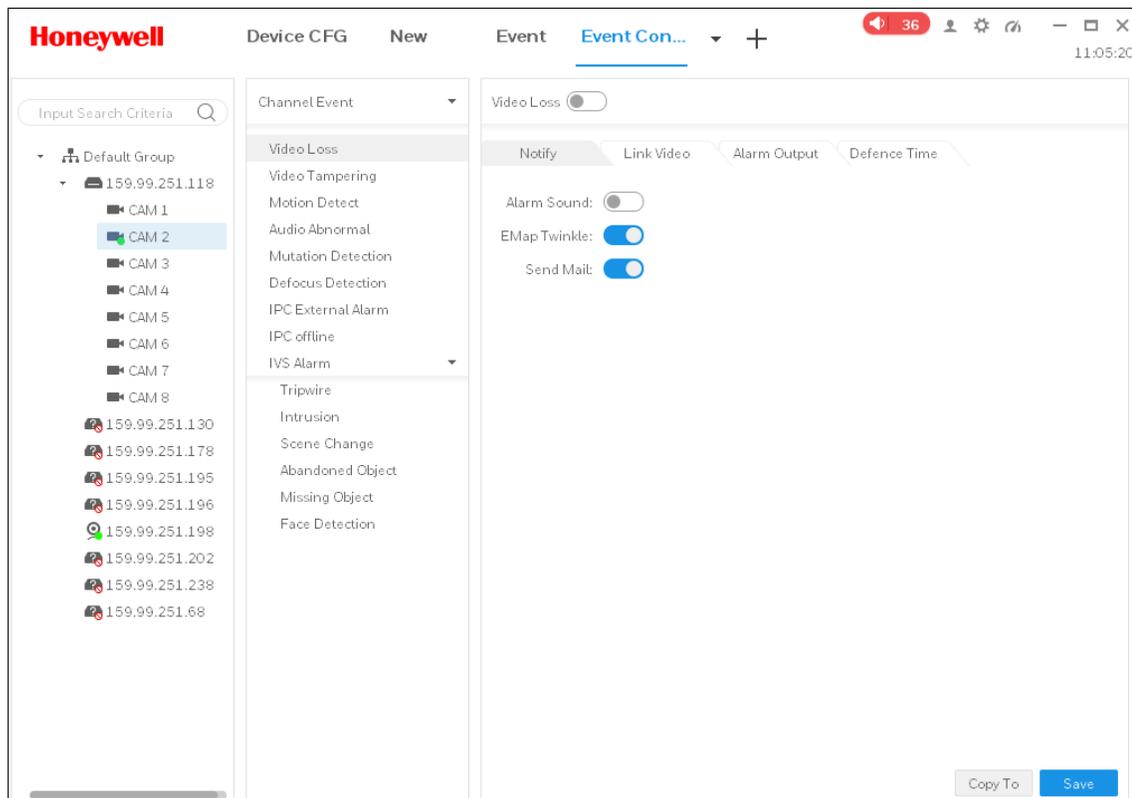
	[人だかり推 定]	
	Fast Moving [高速移動中]	目標の実際速度を計算して目標がセットされた速度を超えた時にイベントがトリガされます。
	Parking Detection [駐車検出]	車の止まっている時間がセットされた時間を超えた場合、イベントが作成されます。
External Event [外部イベント]	アラームインプット 1 を インプット デバイスの入力構造に従 って N は異なります。	外部アラーム入力があった時イベントが生成 されます。
Device Event [デバイスイベ ント]	No Disks[ディスクなし]	デバイスに保管デバイスがない時にイベント が生成されます。
	Disk Fault [ディスク不 良]	デバイスがディスク不良を起こした時にイベ ントが生成されます。
	Disk Full [ディスク満杯]	デバイスのディスクが満杯になるとイベント が生成されます。
	Invalid Access [不正なア クセス]	入力したログインパスワードを続けて間違え て限度に達した時、イベントがトリガされま す。
	Device Offline [デバイス オフライン]	デバイスがオフラインの時
	Voltage Alarm [電圧アラ ーム]	電圧がプリセットよりも高い / 低い時

通知

Notify [通知]機能が有効になっている場合、システムはアラームし、マップ上で点滅するか、またはイベントが起こった時に電子メールを送ります。

1. 図3-24 でデバイスとイベントタイプ（例として Video Loss[映像ロス]を取得）を選びます。下記のインターフェースが表示されます。

図 3-25



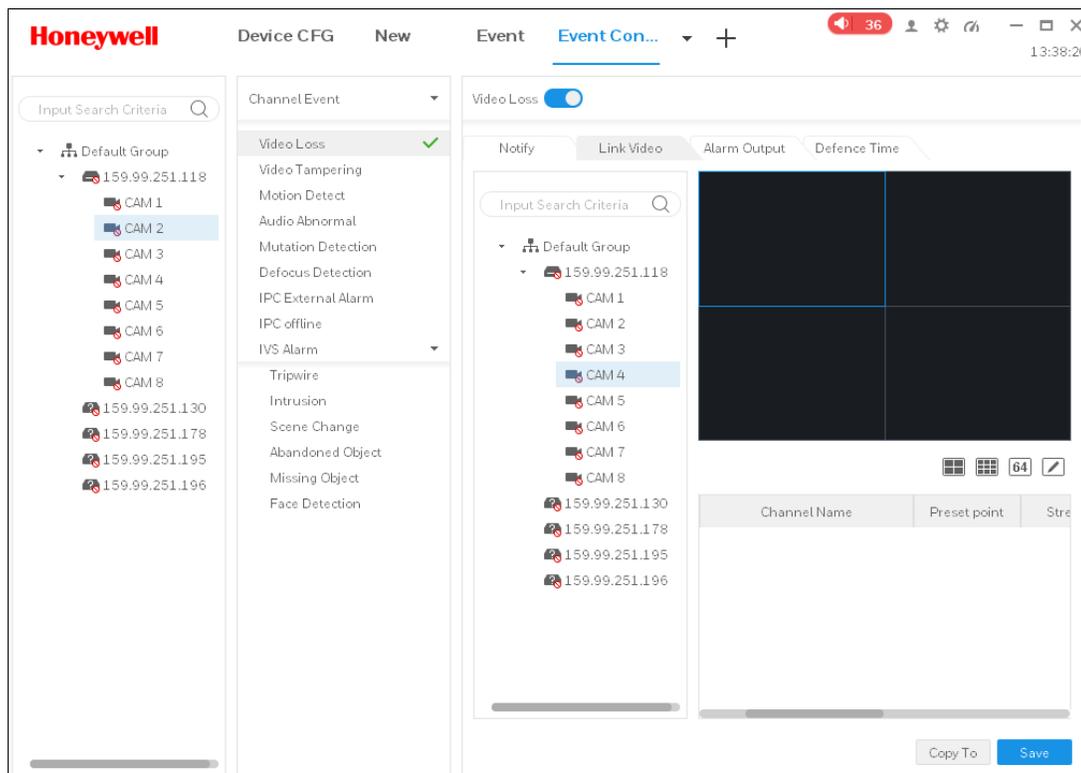
2. イベントタイプを有効にするには Video Loss をクリックします。
3. Alarm Sound [アラーム音]、E-map Twinkle [E マップ点滅]、または Send Email [メール送信]機能を有効化するには、Notify [通知]タブを選択して をクリックします。
4. 他のデバイスに設定を複写するには、Save [保存]または Copy [コピー]をクリックします。

リンク映像

Link Video [リンク映像]機能が有効であれば、システムはイベントが起こった時に対応するカメラのライブビューまたは記録をリンクします。

1. 図3-24 でデバイスとイベントタイプ（例として Video Loss[映像ロス]を取得）を選びます。下記のインターフェースが表示されます。

図 3-26



2. イベントタイプを有効にするには **Video Loss** をクリックします。
3. **Link Video [リンク映像]** タブを選択します。映像インドウを選択してリンクしたいカメラをダブルクリックするか、または直接ウィンドウにドラッグします。     でウィンドウレイアウトを設定できます。
4. リンクされたカメラリストで、以下の項目が設定できます。
 - プリセットポイントを設定
 - ストリームタイプを設定
 - 録画時間を設定
 - 自動オープン映像有効化 / 無効化

- 録画有効化 / 無効化
- カメラを削除します。

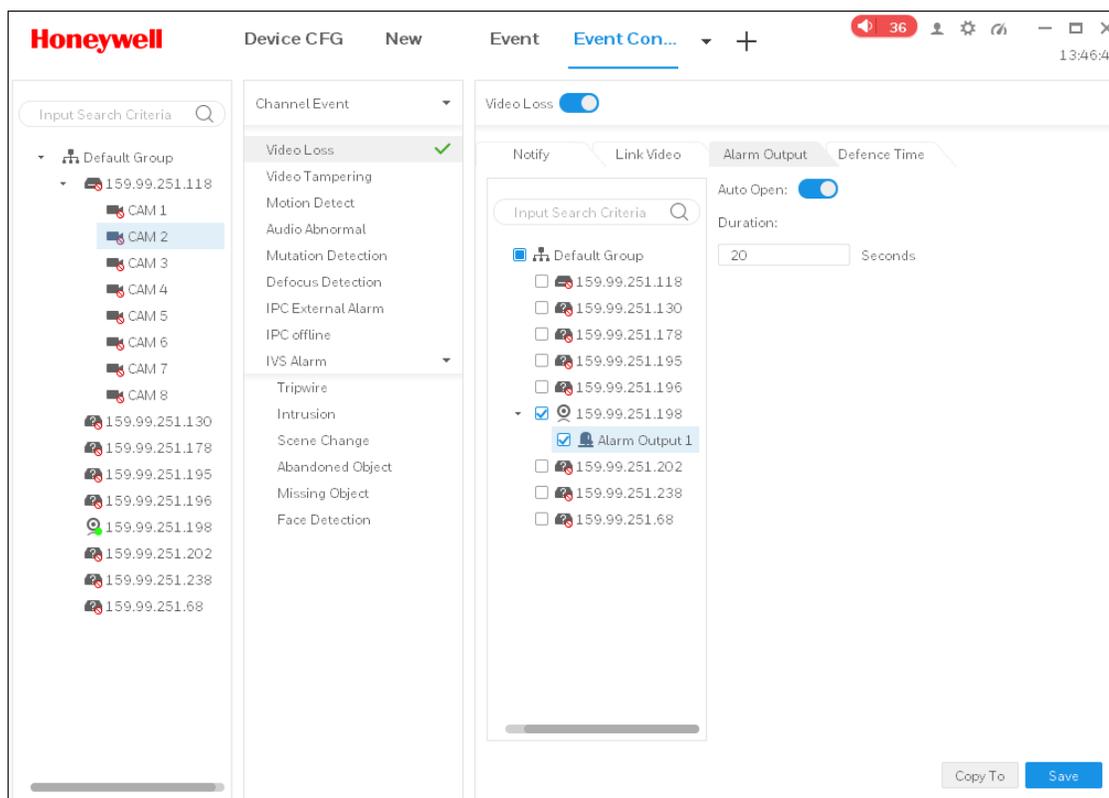
5. 他のデバイスに設定を複写するには、Save [保存]または Copy [コピー]をクリックします。

アラーム出力

Alarm Output [アラーム出力]機能が有効であれば、システムはイベントが起こった時に対応するカメラのアラーム出力をリンクします。

1. 図3-24 でデバイスとイベントタイプ（例として Video Loss[映像ロス]を取得）を選びます。下記のインターフェースが表示されます。

図 3-27



2. イベントタイプを有効にするには Video Loss をクリックします。

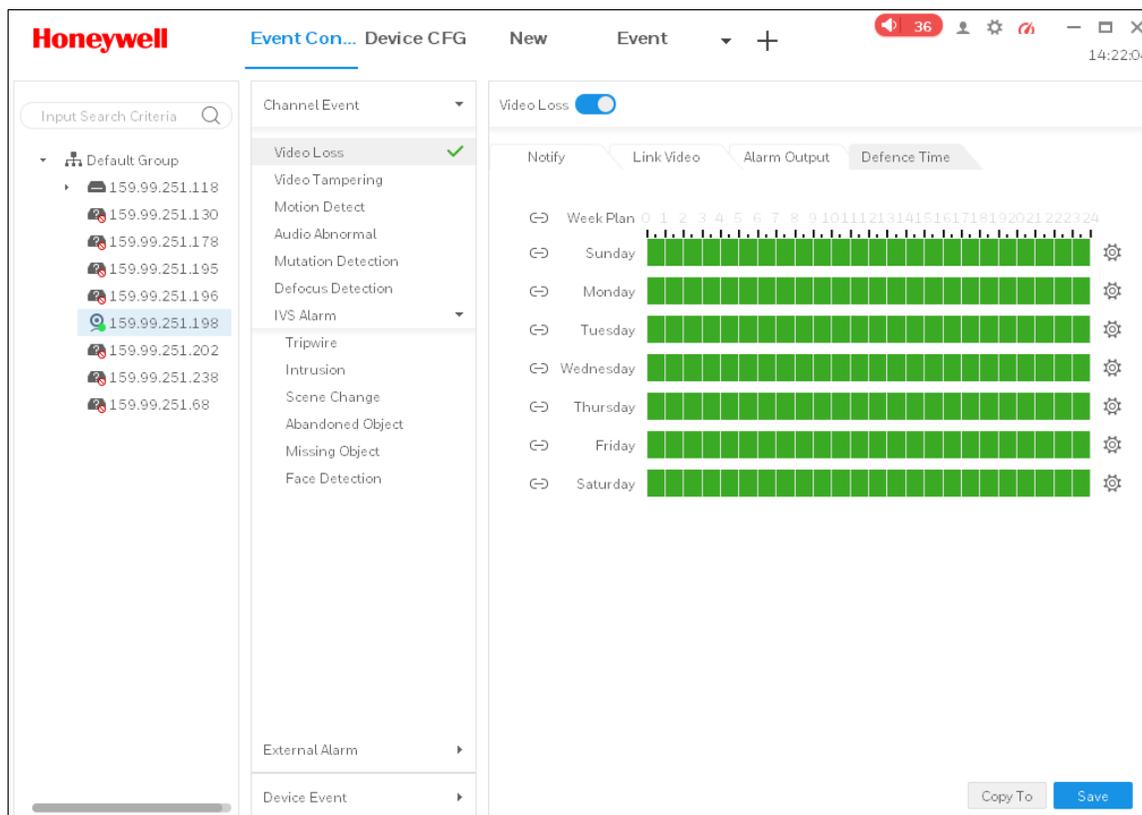
3. Alarm Output [アラーム出力]タブを選択して、ダブルクリックすることで目標の IP カメラを選択します。
4. Auto Open [自動オープン]を有効化 / 無効化するには、 をクリックして手動で期間時間を設定します。
5. 設定を他のデバイスに複写するには、Save [保存]または Copy [コピー]をクリックします。

防護時間

イベントはデフォルトで終日作動しています。警戒 / 警戒解除期間を設定できます。

1. [図3-24](#) でデバイスとイベントタイプ（例として Video Loss [映像ロス]を取得）を選びます。下記のインターフェースが表示されます。

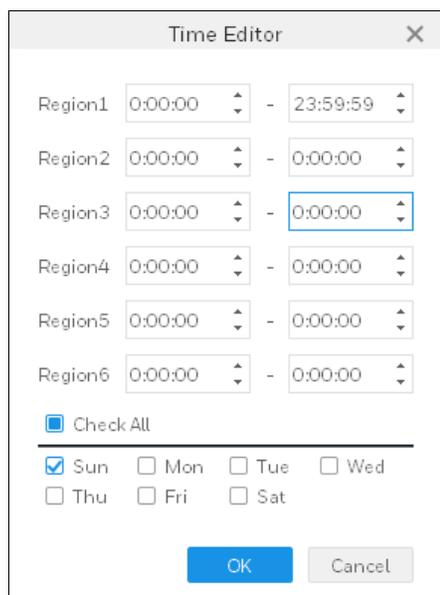
図 3-28



1. イベントタイプを有効にするには  をクリックします。

2. 時間バーに直接対応する期間を描くには **Defence Time [防護時間]** タブを選択してマウスを使用します。以下のポップアップボックスに期間を設定するには、 をクリックすることもできます。

図 3-29



イベントビュー

アラームイベント情報を見ることができます。



図3-2にある **BASIC [基本]** ペインの  をクリックして下記のインターフェースに移動します。

図 3-30

Occur Time	EventType	Device Name	Channel Name	Handling Person	Handling Time	Handling Remark	Handling Status	Operation
2018-05-11 10:00:06	Motion Detect/Disappear	159.99.251.118	CAM 2	admin	2018-05-11 10:01...		✓	
2018-05-11 09:59:59	Motion Detect/Occur	159.99.251.118	CAM 2	admin	2018-05-11 10:02...		✓	
2018-05-11 09:59:50	Motion Detect/Disappear	159.99.251.118	CAM 2	admin	2018-05-11 10:02...		✓	
2018-05-11 09:59:41	Motion Detect/Occur	159.99.251.118	CAM 2	N/A	N/A		✓	
2018-05-11 09:59:29	Motion Detect/Disappear	159.99.251.118	CAM 2	N/A	N/A		✓	
2018-05-11 09:58:17	Motion Detect/Occur	159.99.251.118	CAM 2	N/A	N/A		✓	
2018-05-11 09:58:16	Motion Detect/Disappear	159.99.251.118	CAM 2	N/A	N/A		✓	
2018-05-11 09:57:36	Motion Detect/Occur	159.99.251.118	CAM 2	N/A	N/A		✓	
2018-05-11 09:57:23	Motion Detect/Disappear	159.99.251.118	CAM 2	N/A	N/A		✓	
2018-05-11 09:57:16	Motion Detect/Occur	159.99.251.118	CAM 2	N/A	N/A		✓	
2018-05-11 09:57:09	Motion Detect/Disappear	159.99.251.118	CAM 2	N/A	N/A		✓	
2018-05-11 09:57:03	Motion Detect/Occur	159.99.251.118	CAM 2	N/A	N/A		✓	
2018-05-11 09:56:04	Motion Detect/Disappear	159.99.251.118	CAM 2	N/A	N/A		✓	
2018-05-11 09:55:42	Motion Detect/Occur	159.99.251.118	CAM 2	N/A	N/A		✓	
2018-05-11 09:55:29	Motion Detect/Disappear	159.99.251.118	CAM 2	N/A	N/A		✓	
2018-05-11 09:55:20	Motion Detect/Occur	159.99.251.118	CAM 2	N/A	N/A		✓	
2018-05-11 09:55:12	Motion Detect/Disappear	159.99.251.118	CAM 2	N/A	N/A		✓	
2018-05-11 09:55:05	Motion Detect/Occur	159.99.251.118	CAM 2	N/A	N/A		✓	
2018-05-11 09:54:55	Motion Detect/Disappear	159.99.251.118	CAM 2	N/A	N/A		✓	

1000 までの直近のリアルタイムアラームメッセージをリストアップします。

表 3-4

パラメータ	機能
Stop Link Video Popup [リンク 映像ポップア ップを停止す る。]	チェックするとアラームが起きたときでも映像ウィンドウはポップアップしません。
Stop Refresh [リフレッシュ を停止する。]	チェックすると、システムは新しいメッセージをリフレッシュしません。
Handle [操作]	イベントを選択して、Handle [操作]をクリックします。このイベントの Handling Status [操作状態] が操作済みになりました (✓)。
	アラームが起きたときのアラーム音をミュートするには  をクリックします。 (17) という数は操作しなかったメッセージの数を表します。

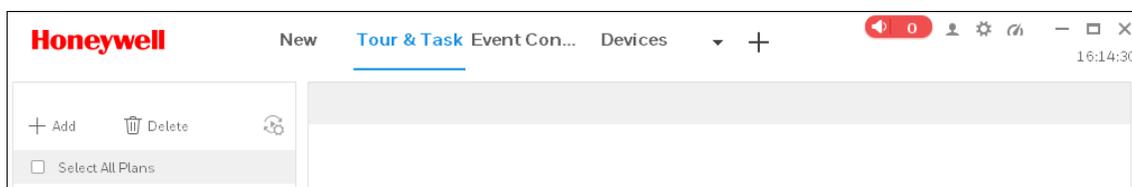
ツアーおよびタスク

異なったウィンドウの中でタスクプランやモニターツアーを設定することができます。



図3-2にある SETTINGS [設定]ペインの Tour & Task をクリックして下記のインターフェースに移動します。

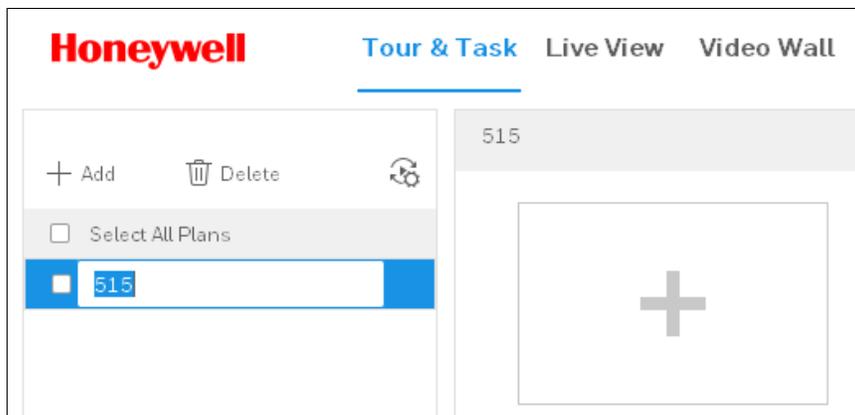
図 3-31



タスクプランを追加する

1. Add [追加]をクリックすると下記のインターフェースが表示されます。

図 3-32

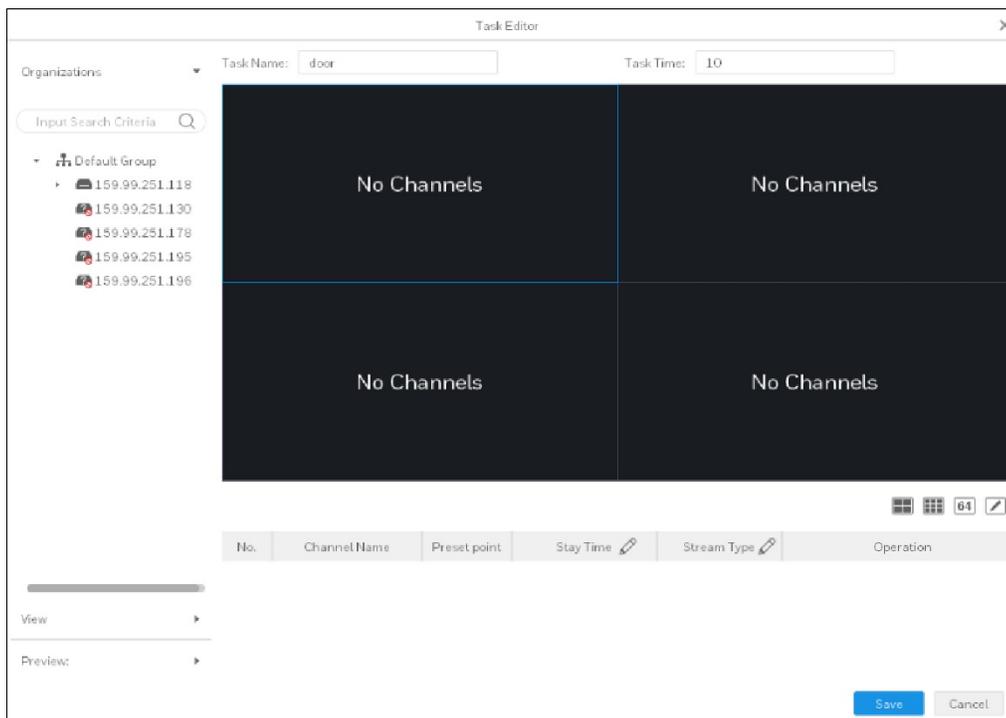


2. 新しいタスクプランの名前を入力します。

3. タスクを設定します。

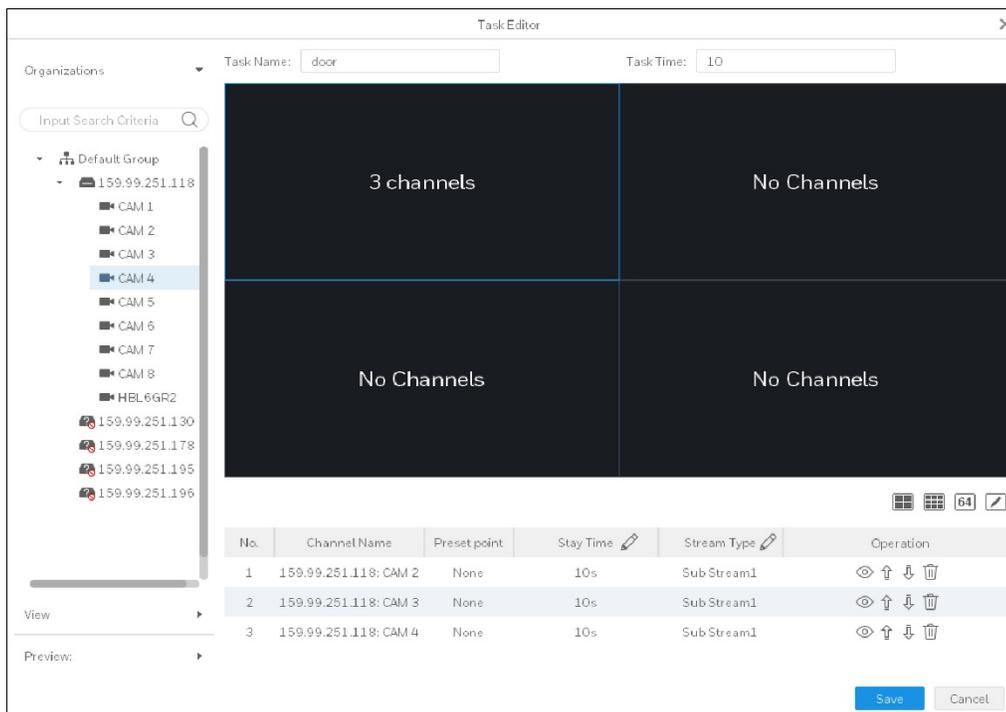
a. 図3-32にある **+** をクリックすると下記のインターフェースが表示されます。

図 3-33



- b. task name [タスク名]と task time [タスク時間]を入力します。
- c. ウィンドウレイアウトを設定するには     をクリックします。
- d. 映像ウィンドウの左のペインでデバイスをドラッグします。下記のインターフェースが表示されます。

図 3-34



- e. 対応するフィールドをダブルクリックすることで preset point [プリセットポイント]、stay time [滞在時間] および stream type [ストリーム種別]を設定します。

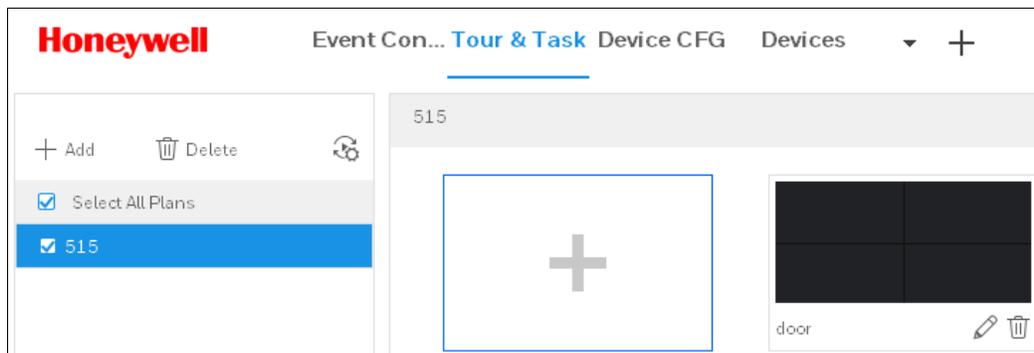
図 3-35



- ライブビューまたは E マップ情報を左のライブビューウィンドウに表示するには  をクリックします。
- タスク内のデバイス順を調整するには  または  をクリックします。デバイス順はタスクで再生される対応映像の順を決定します。
- 対応するデバイスを削除するには  をクリックします。

- f. 現在の設定を保存するには **Save [保存]** をクリックします。新しいタスクプランがツアーとタスクインターフェースに表示されます。

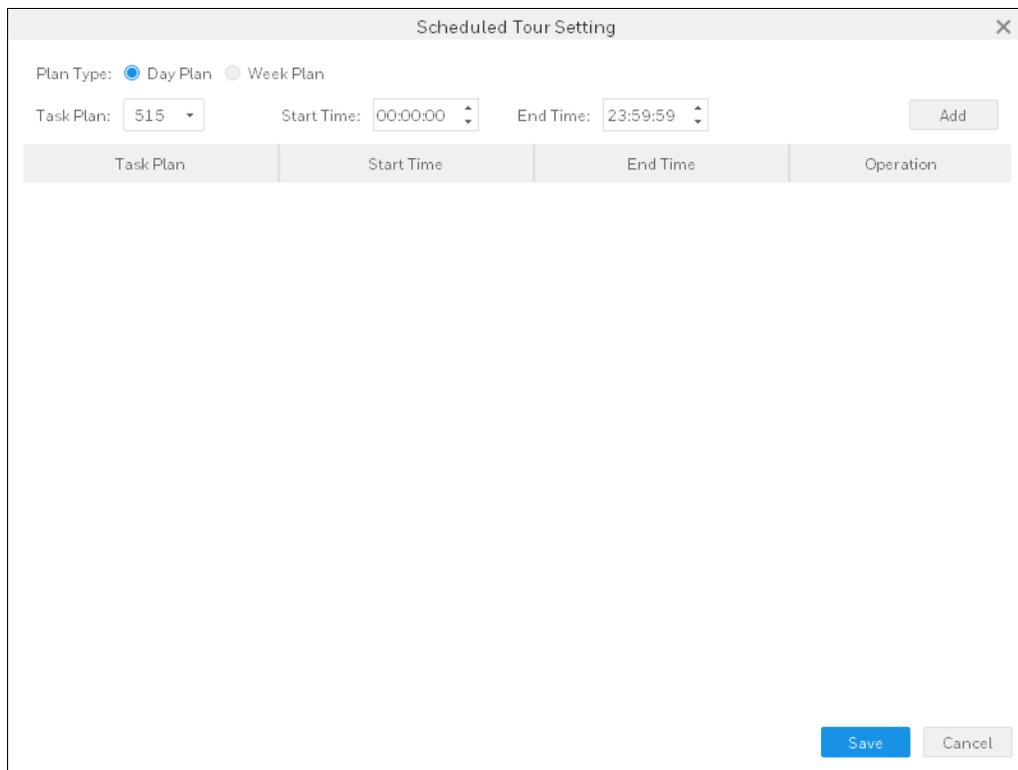
図 3-36



4. ツアースケジュールを設定する

- a.  をクリックすると下記のインターフェースが表示されます。

図 3-37



- b. Plan Type [プラン種類] を選択します。

- c. ドロップダウンリストから Task Plan [タスクプラン]を選択します。
- d. start time [開始時刻] および end time [終了時刻] を設定します。
- e. **Add [追加]**をクリックします。

図 3-38

Task Plan	Start Time	End Time	BASIC
515	04:00:00	05:44:59	X

5. タスクプランの追加を完了するには、**Save [保存]**をクリックします。

タスクプランを修正する

タスクプランを修正するには、タスクプランの名前をダブルクリックするか、または図3-36にあるをクリックします。

タスクプランを削除する

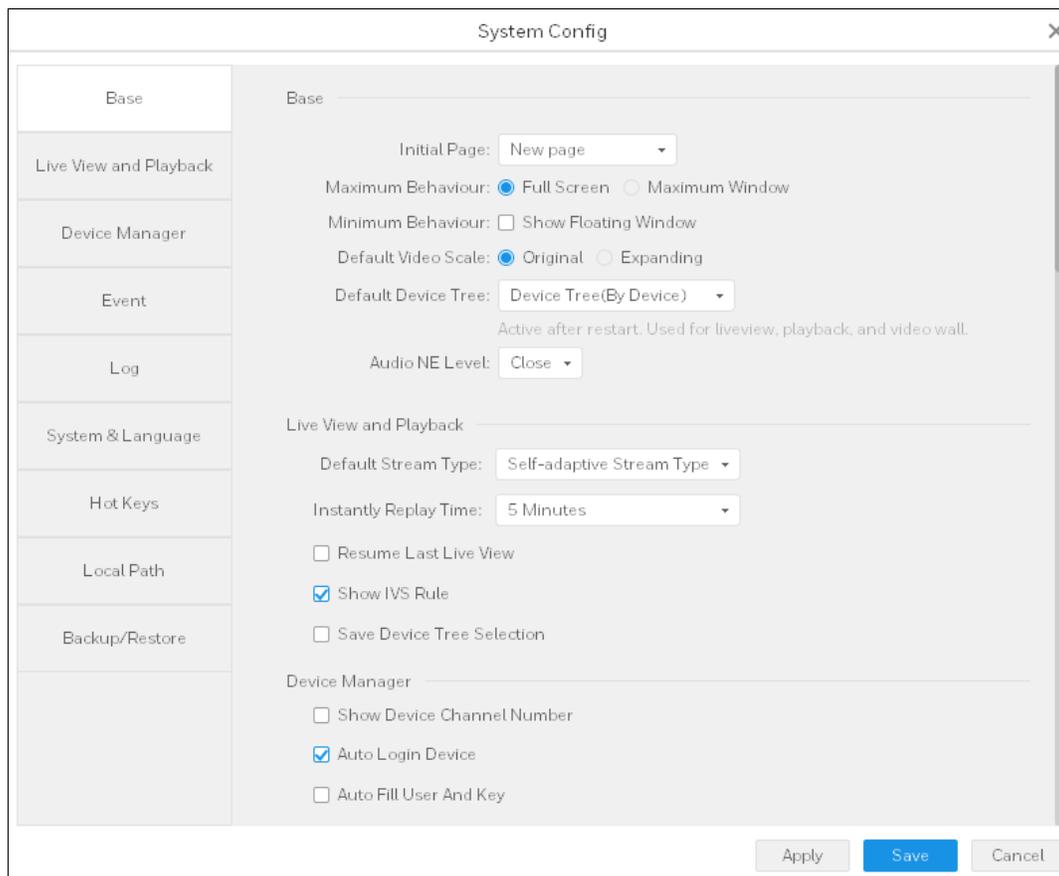
タスクプランを削除するには、図3-36にあるをクリックします。

システム構成

基本的情報、ライブビュー、再生、イベントログ、システム、言語などをセットアップできます。

システム構成インターフェースに移動するには、メインインターフェース（図3-1 参照）のをクリックします。

図 3-39



詳細情報については、以下の表を参照してください。

表 3-5

メニュー	パラメータ	詳細
ベース	Initial Page [初期ページ]	ソフトウェアを開いた時に示されるページをセットアップするには、ドロップダウンリストから選択します。
	Maximum Behavior [最大の動き]	どのようにして映像indowを最大にできるかのオプションを選択します。

Live View and Playback [ライブビューおよび再生]	Minimum Behavior [最小の動き]	ソフトウェアが最小化された時フローティングウィンドウを表示するこのオプションをチェックします。
	Default Video Scale [デフォルトの映像スケール]	ライブビューまたは再生映像のデフォルトレートをセットアップするには、ドロップダウンリストから選択します。
	Default Device Tree [デフォルトデバイスツリー]	デバイスで、またはチャンネルで、どの順番でデバイスをリストアップするかを設定するにはドロップダウンリストから選択します。
	Audio NE Level [オーディオ NE レベル]	オーディオ NE レベルを設定するにはドロップダウンリストから選択します。
	Default Stream Type [デフォルトストリームタイプ]	デフォルトストリームタイプを設定するにはドロップダウンリストから選択します。
	Instantly Replay Time [インスタント再生時間]	ライブビュー画面のインスタント再生時間をセットアップするには、ドロップダウンリストから選択します。
	Resume Last Live view [最後のライブビューを再開する]	このオプションをチェックすると、システムはログアウトした時に映像ウィンドウ状態を記録し、そして次にログインした時に映像を再開します。
	Show IVS Rule [IVS ルールを表示]	右クリックメニューで IVS ルールオプションを有効化するにはこのオプションをチェックします。
Save Device Tree Selection [デバイ	映像検索後選択された状態でデバイスを保存するにはこのオプションをチェックします。	

	スツリー選択を保存する	
Device [デバイス]	Show Device Channel Number [デバイスチャンネル番号を示す]	デバイスチャンネル番号を示すにはこのオプションをチェックします。
	Auto Login Device [自動ログインデバイス]	このオプションをチェックすると、システムは、再起動した時に追加デバイスを自動的にログインします。
	Auto Fill User and Key [ユーザーと鍵の自動フィル]	このオプションをチェックすると、システムは、手動でユーザー名やパスワードを入力することなく追加デバイスを自動的にログインします。
	Loop [ループ]	イベントが起こった時ルーピングアラームを有効化するにはこのオプションをチェックします。
Event [イベント]	Global Wav [グローバルウェーブ]	<ul style="list-style-type: none"> このオプションをチェックして、すべての種類のアラーム用に1つのオーディオファイルを選択します。 このオプションのチェックを外すと、異なる種類のアラームには異なる種類のオーディオファイルを選択します。
	SMTP	このオプションをチェックすると、システムはイベントが起こったときに電子メールを送ります。
Log [ログ]	Log Saved Time [ログ保存時間]	ログ保存時間をセットアップするにはフィールドに数値を入力します。
System and Language [システムと言語]	Network Ability [ネットワーク能力]	ドロップダウンリストから実際のネットワーク性能を選択します。

Auto Check Time [自動チェック時間]	デバイス時間をローカル PC 時間と何時に同期を開始するかをセットアップするにはこのオプションをチェックします。
Check Time [チェック時間]	デバイスの時間をローカルの PC 時間と直ぐに同期させるためにクリックします。
Language [言語]	システムの言語を設定するにはドロップダウンリストから選択します。
Hotkeys [ホットキー]	ホットキーを設定するには、ホットキーコラムをダブルクリックして、キーボードのホットキーを入力します。
Local Path [ローカルパス]	Pic Path [Pic パス] 画像保存パスを設定するためにクリックします。
	Record Path [録画パス] 録画保存パスを設定するためにクリックします。
Backup/Restore [バックアップ/復元]	Backup [バックアップ] 構成をバックアップするにはバックアップをクリックします。
	Restore [復元] 構成を復元するには復元をクリックして、構成ファイルを選択します。

4 ライブビュー

この章は以下の項で構成されています：

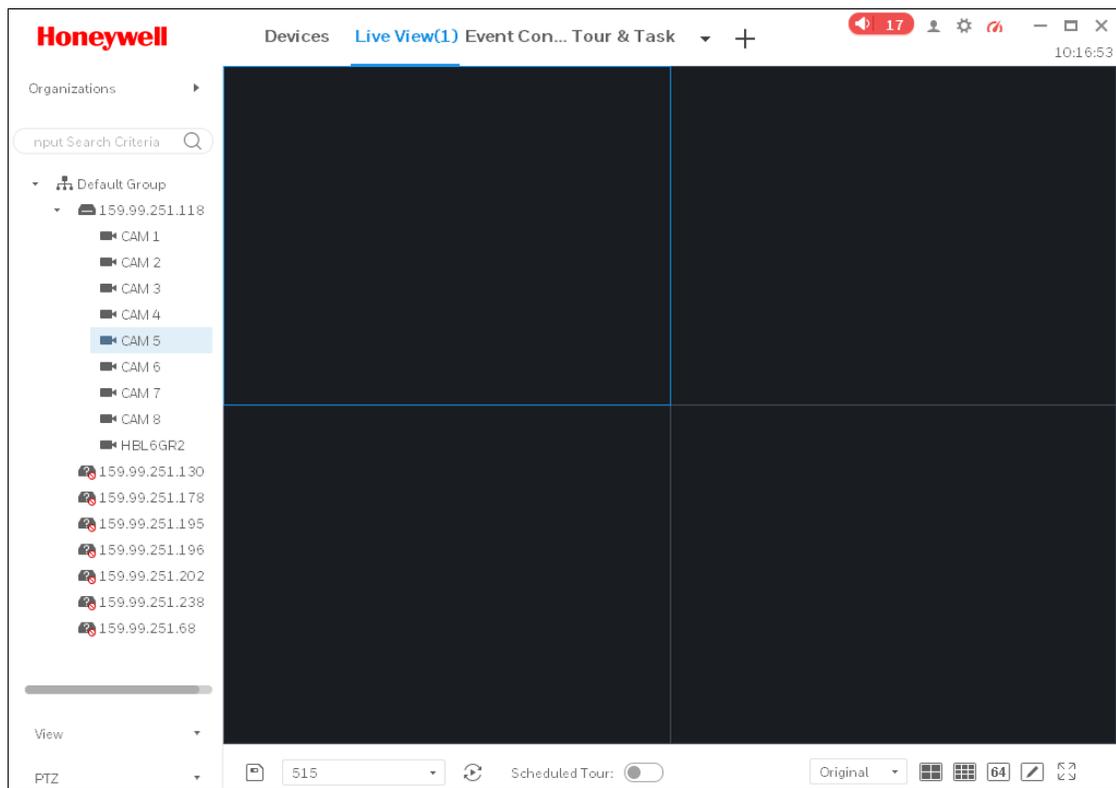
- [ライブビュー](#) ページ 46
- [映像設定](#) ページ 49

デバイスが追加された後、接続されたデバイスからのライブビューをチェックして映像設定を修正します。



[図3-2](#)にある **BASIC [基本]**ペインの **Live View** をクリックして下記のインターフェースに移動します。

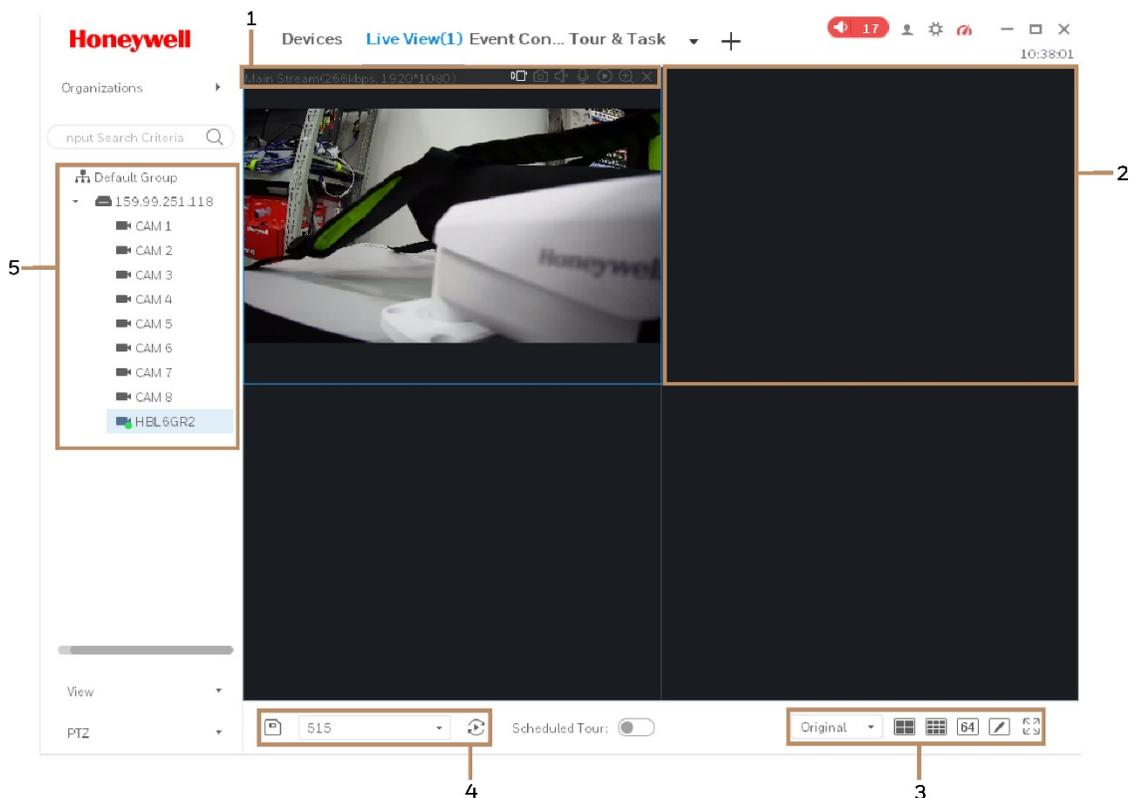
図 4-1



ライブビュー

ウィンドウを選択して、左ペインにあるカメラをダブルクリックまたはドラッグして映像を見るウィンドウに乗せます。

図 4-2



詳細情報については、以下の表を参照してください。

表 4-1

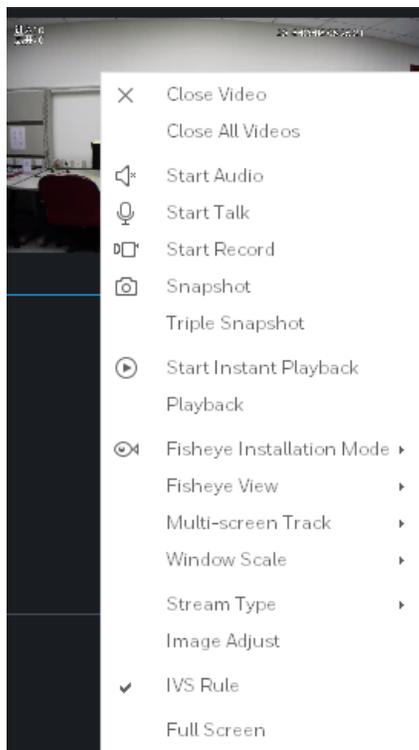
SN	項目	詳細
1	ビットストリーム情報およびショートカット操作メニュー	<ul style="list-style-type: none"> •  : ローカル録画 •  : スナップショット •  : オーディオ •  : 音声会話 •  : 即時再生 •  : ズームイン •  : 映像を閉じる

SN	項目	詳細
2	Video Window [映像ウィンドウ]	リアルタイム映像
3	Window Layout [ウィンドウレイアウト]	<p>   : 4 ウィンドウ、9 ウィンドウ、64 ウィンドウレイアウトを設定するためにクリックします。</p> <p> : ウィンドウレイアウトを選択してから、このボタンをクリックするとセットアップをカスタマイズできます。</p> <p> : 映像スケールを調整します。</p> <p> : 全画面表示</p>
4	Intelligent Button [インテリジェントボタン]	<p> : 現在のライブビューレイアウトをビューとして保存します。ビュータブ下にあるウィンドウレイアウトを再呼出しするにはビュー名をダブルクリックできます。</p> <p> : ツアープランを開始します。ページ ツアーおよびタスク を 36 参照してください。</p> <p> : ツアープランを閉じます。</p>
5	PTZ (PTZ ドームカメラまたは魚眼カメラ)	<p>ここでは、カメラの方向、ズームイン (拡大)、ズームアウト (縮小)、および絞りなどを設定できません。</p> <p>プリセット、パン、スキャン、パターン、AUX およびワイパーをセットするためにさらなる機能をクリックします。</p>
6	Device List [デバイスリスト]	主ストリーム / 副ストリーム、チャンネル名修正、または構成インターフェースに移動する、を選択するには、デバイスを右クリックします。

映像設定

ライブビューウィンドウを右クリックすると、下記のウィンドウが表示されます：

図 4-3



映像をセットするために対応するオプションを選択します。

5 再生

この章は以下の項で構成されています：

- [デバイスの録画を再生します](#) ページ 52
- [デバイスの画像を再生します](#) ページ 58
- [ローカルの録画を再生します](#) ページ 60
- [ローカルの画像を再生します](#) ページ 61
- [デバイスの録画をエクスポートします](#) ページ 62
- [デバイスの画像をエクスポートします](#) ページ 64
- [ローカルの録画をエクスポートします](#) ページ 64

デバイスまたはローカルのディレクトリに保存されている録画または画像を再生、あるいはローカルのコンピュータへエクスポートできます。



[図3-2](#)にある **BASIC [基本]**ペインの **Playback** をクリックして下記のインターフェースに移動します。

図 5-1

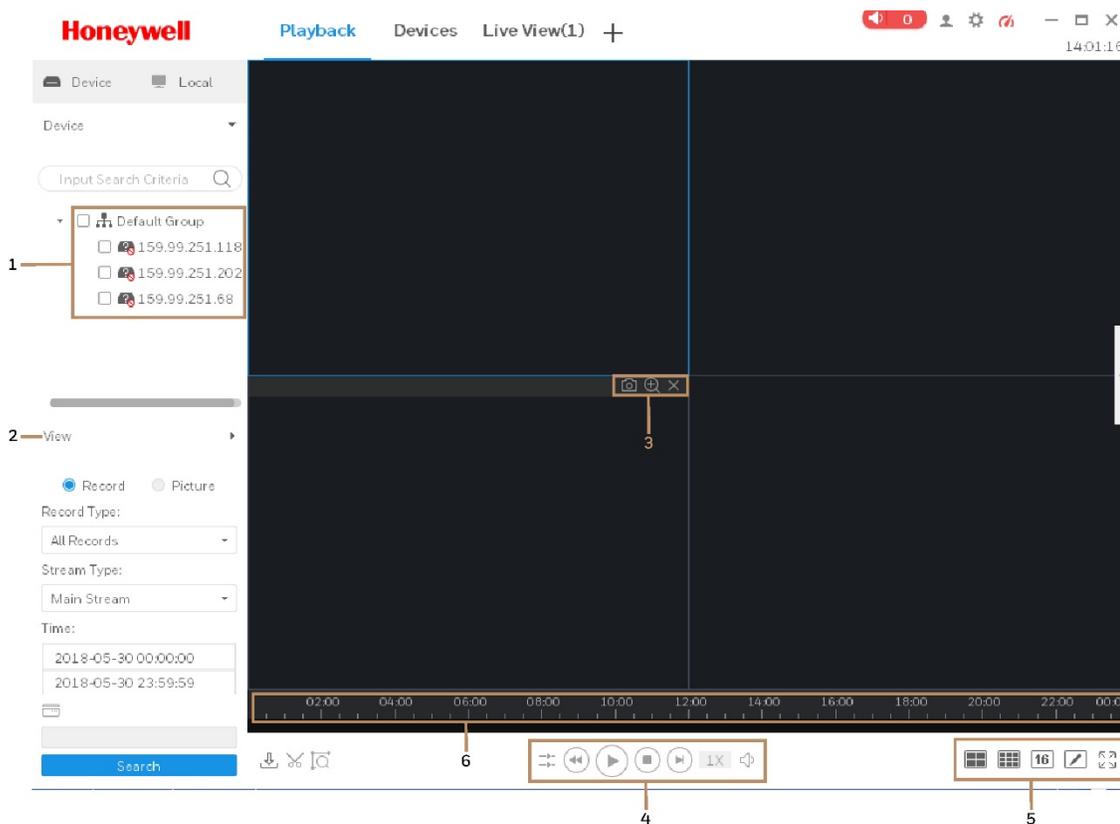


表 5-1

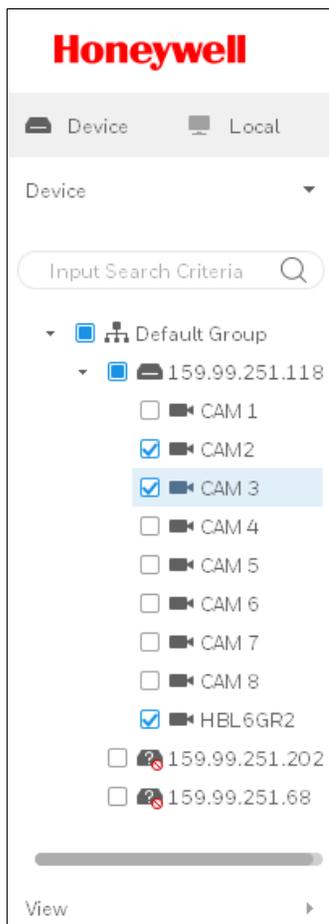
SN	項目	詳細
1	Device List [デバイスリスト]	デバイスを右クリックして、デバイスを切り離すには ログアウト]Logout[を選択します。 ログアウトした後、デバイスを右クリックして、デバイスを再接続するために ログイン]Login[を選択します。
2	View [ビュー]	特定のウィンドウレイアウトで映像を再生します。の インテリジェントボタン]Intelligent Buttons[を参照します 図4-1 。
3	Window Shortcut Key [ウィンドウショートカットキー]	 : スナップショット  : デジタルズーム  : 現在のウィンドウを閉じます。

4	<p>Playback Control [再生コントロール]</p>	<ul style="list-style-type: none"> •  : 再生と一時停止を切り替えます。 •  : 再生を停止します。 •  : フレーム毎に前のフレームを再生します。 •  : 再生速度を調整します。 <p>注：再生速度は帯域の容量に依存します。16 倍再生ができない場合、帯域容量をそれに応じてチェックおよびアップグレードします。</p> <ul style="list-style-type: none"> •  : オーディオをオン / オフして音量を調整します。 •  : 同じ時点からすべてのウィンドウの映像を再生します。 •  : 選ばれたウィンドウのみ再生します。
5	<p>Window Layout [ウィンドウレイアウト]</p>	<ul style="list-style-type: none"> •    : 4 ウィンドウ、9 ウィンドウ、または 64 ウィンドウレイアウトを設定します。 •  : ウィンドウレイアウトを選択してから、このボタンをクリックするとウィンドウレイアウトをカスタマイズできます。 •  : 全画面表示
6	<p>Time Bar Control [時間バーコントロール]</p>	<p>タイムラインをズームイン / ズームアウトするにはマウスをスクロールします。</p>

デバイスの録画を再生します。

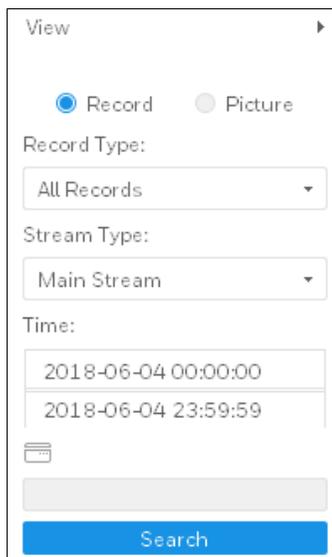
1. Device[デバイス]オプションをクリックして、Device[デバイス]リストにあるデバイスか、または View[ビュー]リストにあるビューを選択します。

図 5-2



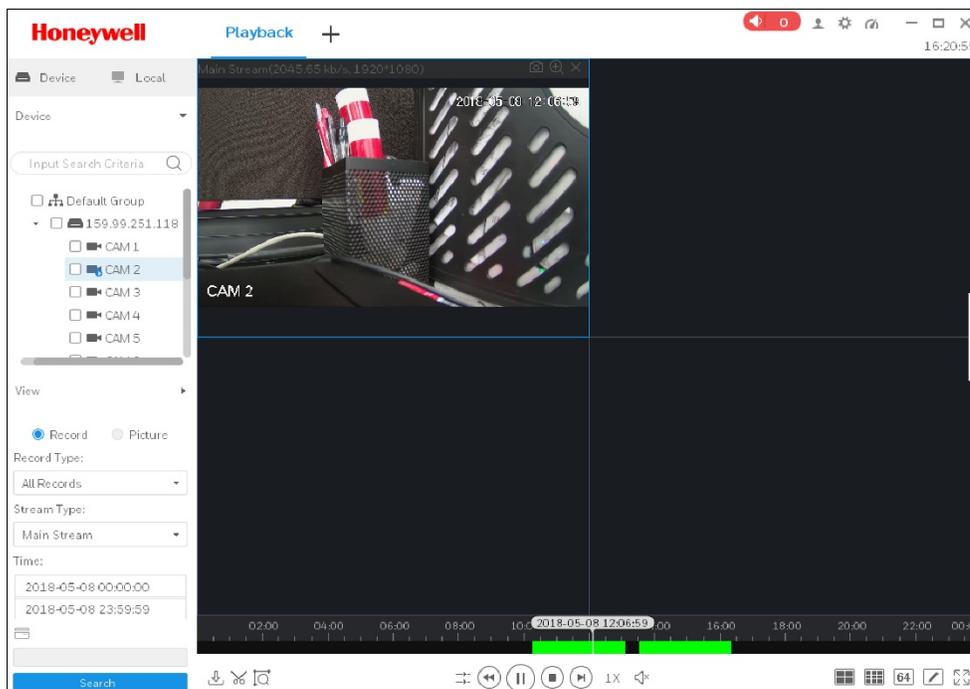
2. **View** [ビュー] リストにある **Record** [録画] オプションを選択して、録画タイプ、ストリームタイプ、開始時間および終了時間をセットします。

図 5-3



3. 録画を **Search [検索]**するには検索をクリックし、録画を再生するには  をクリックします。

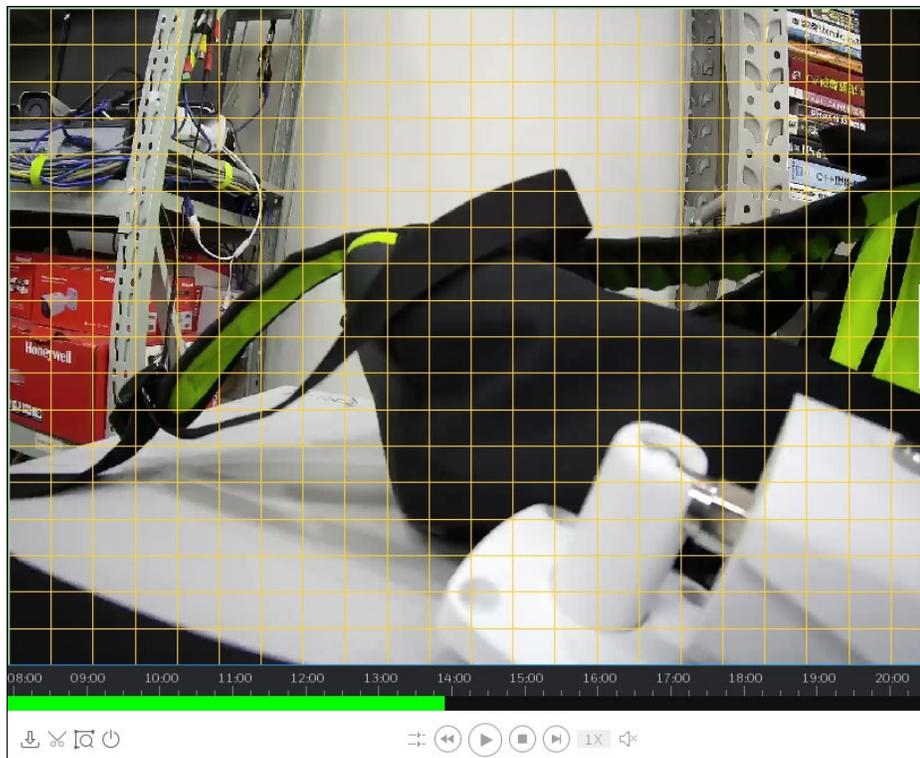
図 5-4



スマート検索

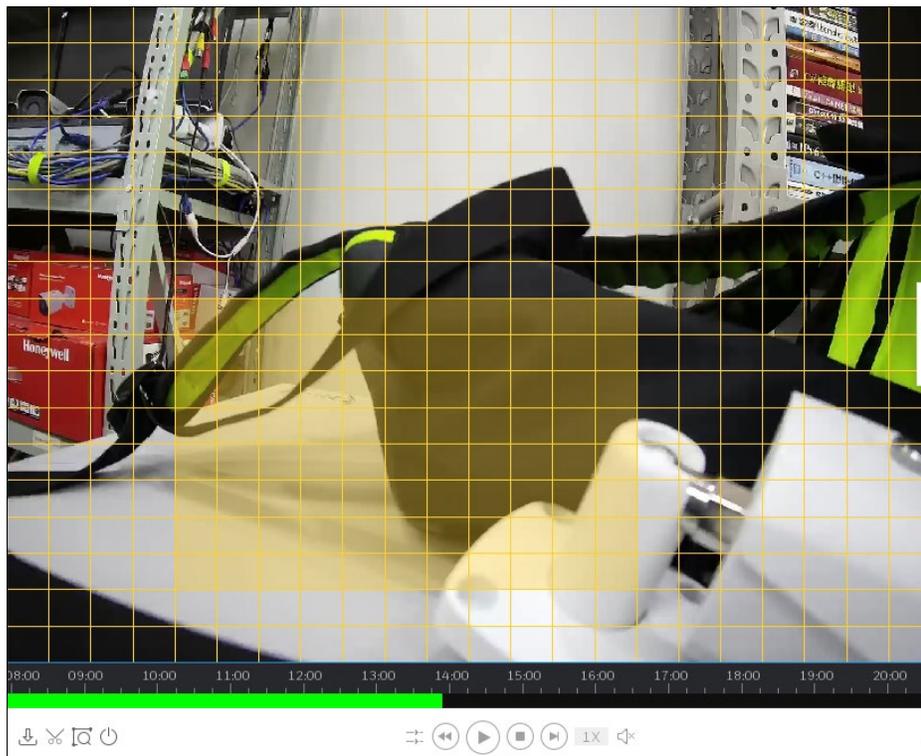
1. スマート検索モーション検出するには図5-4の底にあるをクリックします。システムは、[モーション検出] ウィンドウを表示します。

図 5-5



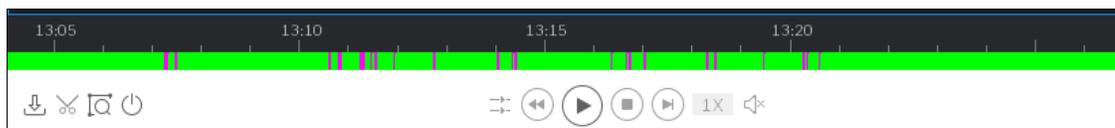
2. モーション検出タイムレンジとしてエリアをドラッグします。

図 5-6



3. 時間内にモーション検出映像を検索するために再び  をクリックします。図5-7にあるタイムバーの紫エリアはモーション検出映像が見つかったことを表します。

図 5-7

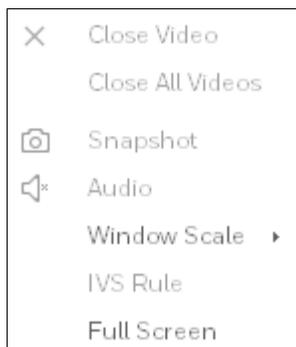


4. モーション検出映像を再生するには  をクリックします。
5. 次のスマート検索のために  をクリックします。

映像設定

再生ウィンドウを右クリックすると、下記のウィンドウが表示されます：

図 5-8



詳細情報については、以下の表を参照してください。

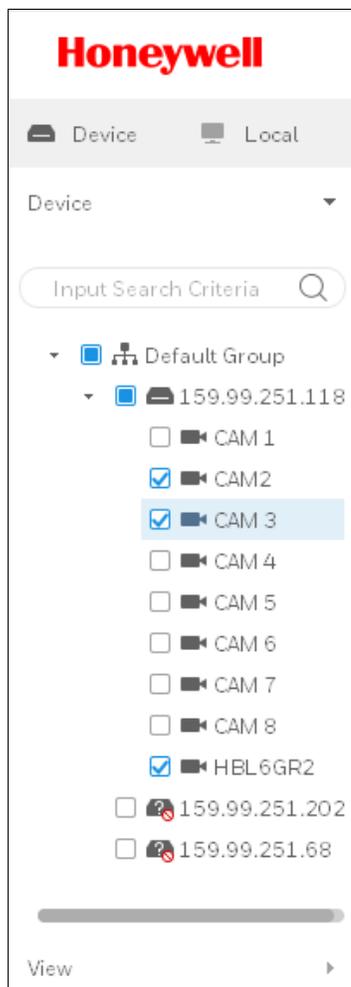
表 5-2

項目	機能
Close Video {映像を閉じる}	ウィンドウを閉じる
Close All Videos [すべての映像を閉じる]	すべてのウィンドウを閉じます。
Snapshot [スナップショット]	現在のウィンドウをスナップショットして一枚の画像を保存します。
Audio [オーディオ]	オーディオ機能を有効化 / 無効化します。
Window Scale [ウィンドウスケール]	ウィンドウスケールを調整します。 再生ウィンドウを右クリックして、ウィンドウスケールメニューから映像のアスペクト比を選択します。
IVS Rule [IVS ルール]	IVS 機能の有効化 / 無効化
Full Screen [全画面表示]	全画面モードに切り替えます。ウィンドウを右クリックして、抜け出すためにフルスクリーンから出る、または Esc ボタンを押します。

デバイスの画像を再生します。

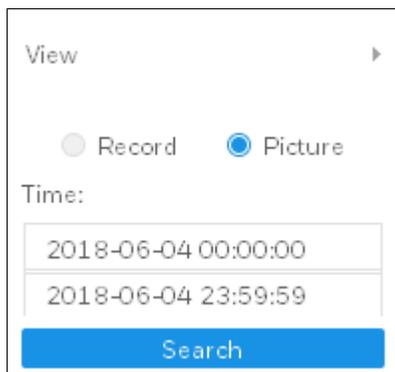
1. Device [デバイス]オプションをクリックして、Device [デバイス]リストにあるデバイスか、または View [ビュー]リストにあるビューを選択します。

図 5-9



2. View [ビュー]リストにある Picture [画像]オプションを選択して開始時刻と終了時刻を選択します。

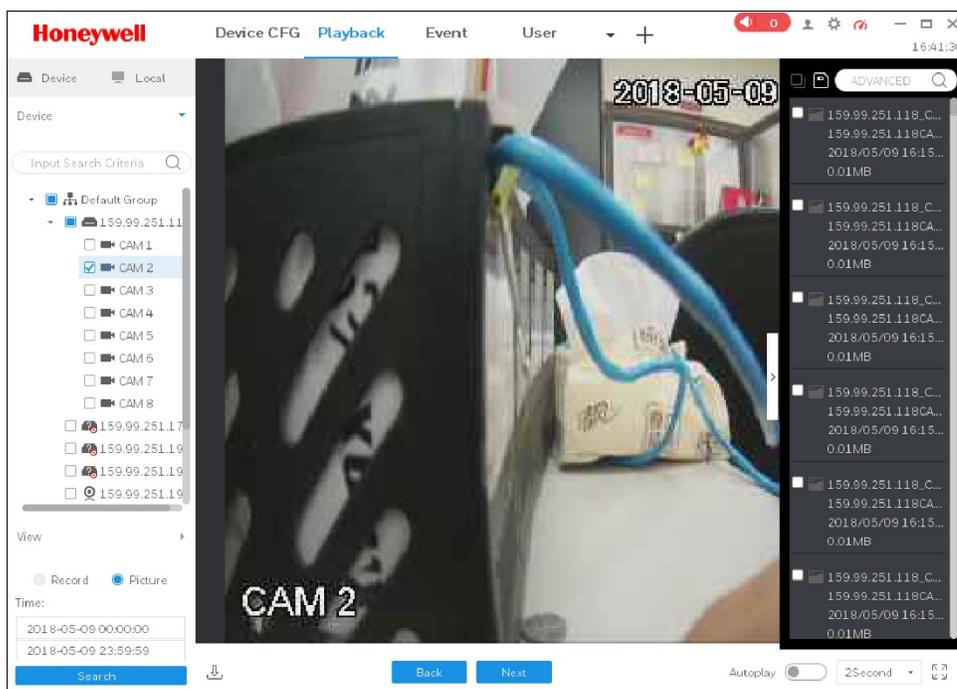
図 5-10



3. 録画を検索するには Search [検索] をクリックして、結果リストを拡大または折りたたむに

は右の  をクリックします。

図 5-11

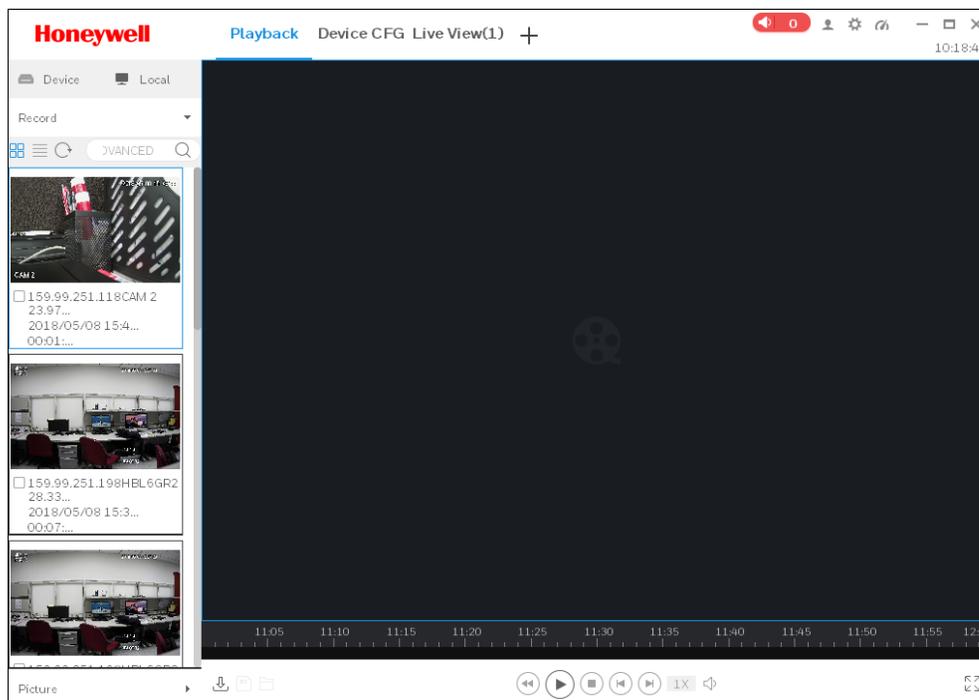


4. 画像を手動または  のクリックで見ると Back [戻る] または Next [次へ] をクリックします。また画像を自動で見るために時間間隔をセットします。

ローカルの録画を再生します。

1. 図5-1にある Local [ローカル]オプションをクリックします。また、録画リストを拡大するには Record [録画]タブをクリックします。

図 5-12



2. 表示モードをリストとサムネイルで切り替えるには  または  をクリックします。リストを更新するには  をクリックします。
3. 録画をチェックして再生するには  をクリックします。

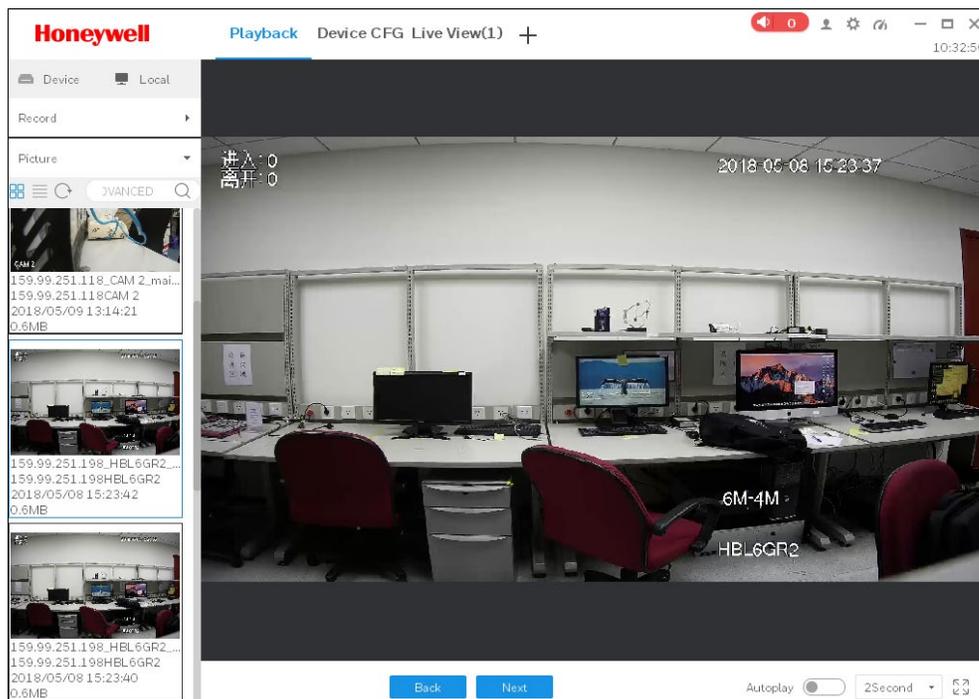
図 5-13



ローカルの画像を再生します。

1. 図5-1にある Local [ローカル] オプションをクリックします。また、画像リストを拡大するには Picture [画像] タブをクリックします。

図 5-14



2. 画像を手動または **Autoplay** のクリックで見るには **Back [戻る]** または **Next [次へ]** をクリックします。また画像を自動で見るために時間間隔をセットします。

デバイスの録画をエクスポートします。

録画を再生するには [デバイスの録画を再生します](#) ページ 52 のステップ 1-6 を参照します。

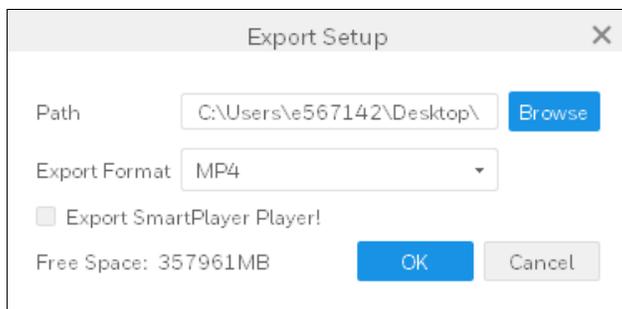
5. ✂ をクリックするとシステムはランダムに録画クリップを選択します（デフォルトで 1 分）。録画の開始時刻と終了時刻を調整するため赤ドット（赤い丸）をドラッグします。

図 5-15



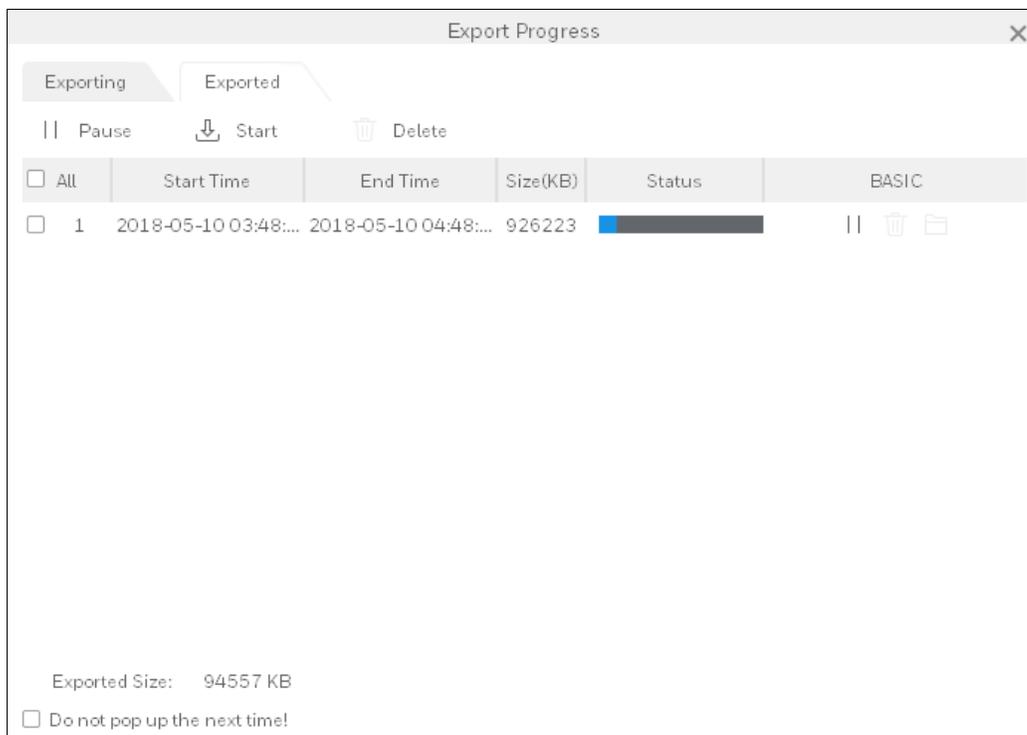
6. 録画クリップをエクスポートするには再度 ✂ をクリックします。

図 5-16



7. 保存パスを設定してエクスポートフォーマットを MP4 として設定します。そして OK をクリックします。必要に応じて、スマートプレイヤーをダウンロードおよびインストールするには、下の Export SmartPlayer プレーヤーにチェックを入れます。
8. エクスポートの進み具合とエクスポート時間をチェックするには、[図5-15](#)にある ⬇ をクリックします。

図 5-17

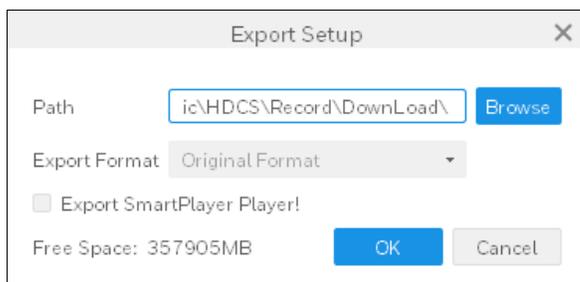


デバイスの画像をエクスポートします。

画像を再生するには [デバイスの画像を再生します](#) のステップ 1-6 を参照します。

7. 目的の画像を選択して  をクリックします。下記のウィンドウが表示されます。

図 5-18



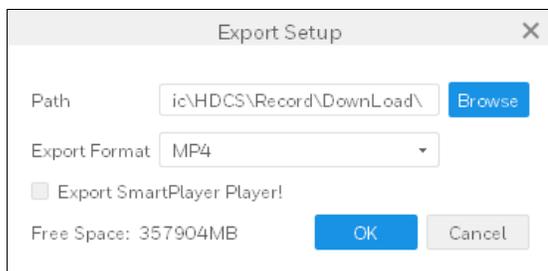
8. 保存パスを設定して OK をクリックします。必要に応じて、スマートプレイヤーをダウンロードおよびインストールするには、下の Export SmartPlayer プレーヤーボックスにチェックを入れます。
9. エクスポートの進み具合とエクスポート時間をチェックするには、 をクリックします。

ローカルの録画をエクスポートします。

録画を再生するには [ローカルの録画を再生します](#) ページ 60 のステップ 1-3 を参照します。

4. 目的の録画を選択して  をクリックします。下記のウィンドウが表示されます：

図 5-19



5. 保存パスを設定してエクスポートフォーマットを **MP4** として設定します。そして **OK** をクリックします。必要に応じて、スマートプレイヤーをダウンロードおよびインストールするには、下の Export SmartPlayer Player [エクスポート スマート プレーヤープレイヤー] ボックスにチェックを入れます。
6. エクスポートの進み具合とエクスポート時間をチェックするには、 をクリックします。

6 ログ

この章は以下の項で構成されています：

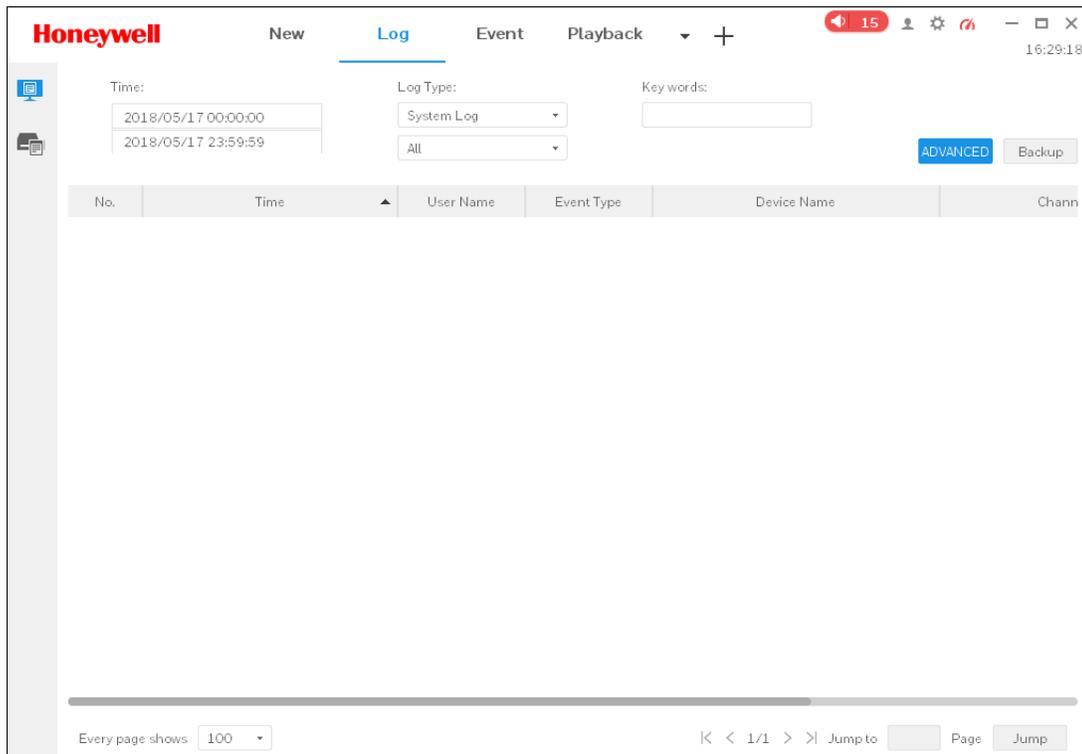
- [クライアントログ](#) ページ 67
- [デバイスログ](#) ページ 68

クライアントログやデバイスログを検索およびバックアップできます。



[図3-2](#)にある BASIC [基本]ペインの Log をクリックして下記のインターフェースに移動します。

図 6-1



クライアントログ

1. 図6-1にある  をクリックします。
2. start time [開始時刻]、end time [終了時刻]、log type [ログタイプ]、および device [デバイス]を設定します。
3. Search [検索]をクリックします。
4. すべてのログをローカルのディレクトリにバックアップするには Backup [バックアップ]をクリックします。

デバイスログ

1. [図6-1](#)にある  をクリックします。
2. start time [開始時刻]、end time [終了時刻]、log type [ログタイプ]、および key words [キーワード]をセットします。
3. Search [検索]をクリックします。
4. すべてのログをローカルのディレクトリにバックアップするには Backup [バックアップ]をクリックします。

7 アドバンス

この章は以下の項で構成されています：

- [ビデオウォール](#) ページ 69
- [E マップ](#) ページ 77

ビデオウォール

ビデオウォール構成が設定されている場合、映像はビデオウォールに出力できます。

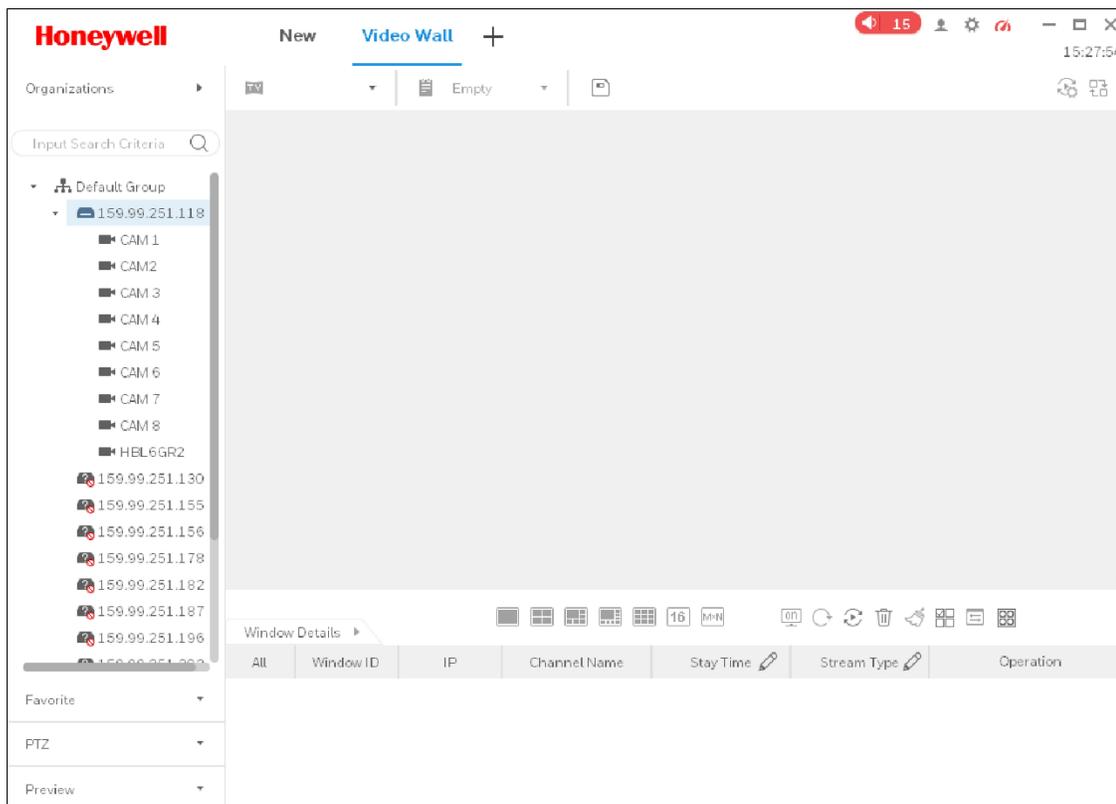
注

ビデオウォール機能を動作する場合、デコーダは前もってシステムに接続されていなければなりません。



[図3-2](#)にある **ADVANCED [アドバンス]**ペインの **Video Wall** をクリックして下記のインターフェースに移動します。

図 7-1

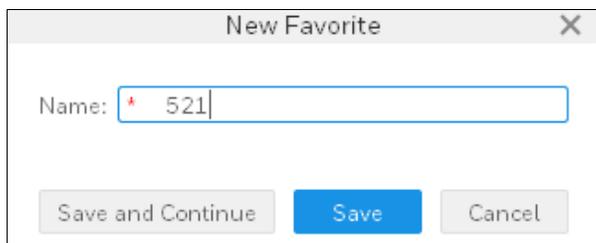


お気に入りの構成

お気に入りを追加する

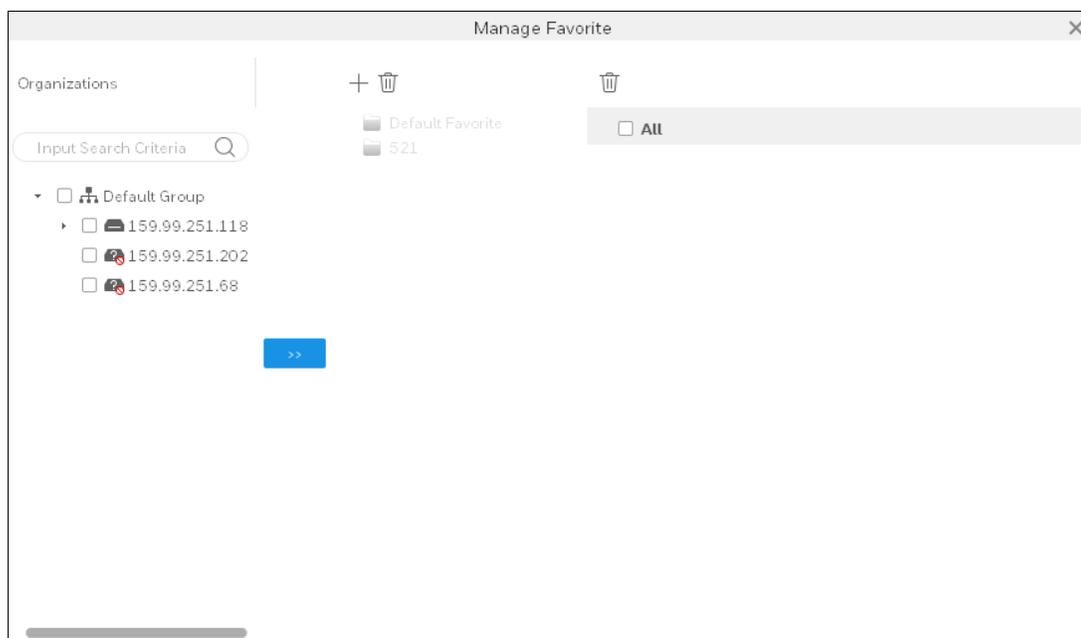
1. 図7-1にある Favorite [お気に入り] タブをクリックして、次に New Favorite [新しいお気に入り] をクリックします。下記のウィンドウが表示されます：

図 7-2



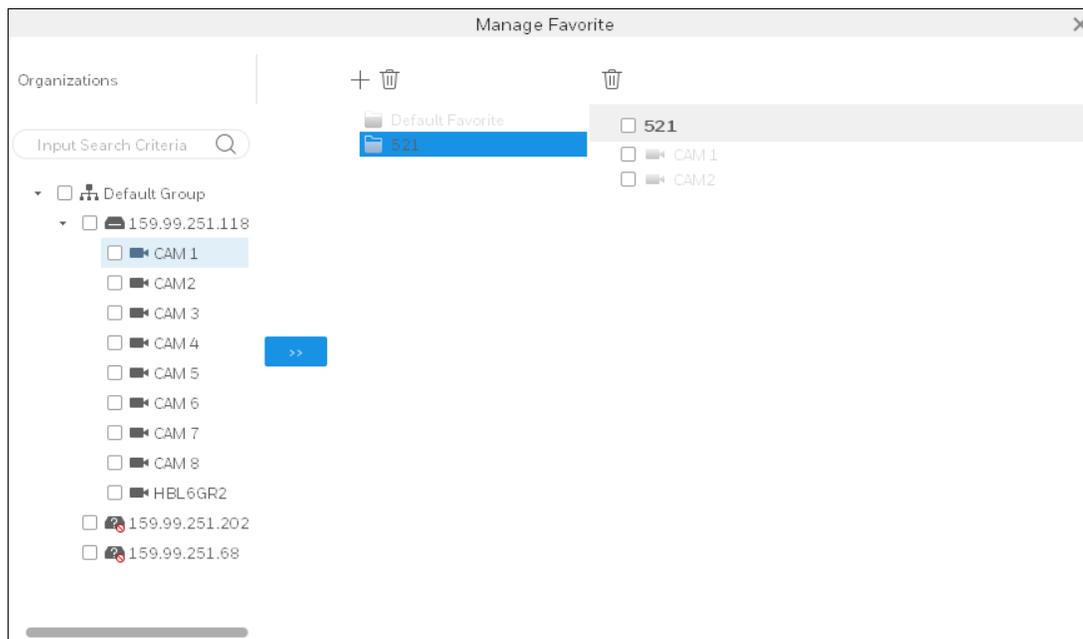
2. お気に入りの名前を入力して **Save [保存]** をクリックします。新たに加えられたお気に入りがお気に入りリストに表示されます。他のお気に入りを追加するには **Save and Continue [保存および継続]** をクリックします。
3. お気に入りの名前を右クリックします。そして **Manage Favorite [お気に入りを管理]** を選びます。下記のインターフェースが表示されます。

図 7-3



4. 左のペインにある組織リストからデバイスを選択してお気に入りフォルダを中央のペインで選択します。デバイスをお気に入りフォルダに追加するには **>>** をクリックします。

図 7-4



5. Manage Favorite [お気に入りを管理]から抜け出すために  をクリックします。

お気に入りを削除する

お気に入りを削除するには下記の 2 つの方法から 1 つを実行します。

- [図7-4](#)にある中央ペインのお気に入りフォルダを選択して上の  をクリックします。
- [図7-1](#)にあるお気に入り名を右クリックして Delete Favorite [お気に入りの削除]を選択します。

注 デフォルトのお気に入りフォルダは削除できません。

お気に入りのデバイスを削除する

お気に入りデバイスでデバイスを削除するには下記の 2 つの方法から 1 つを実行します。

- [図7-4](#)の中央ペインにあるお気に入りフォルダを選択して、右ペインのお気に入りにあるデバイスを選択、次に上の  をクリックします。

- 図7-1にあるお気に入りのデバイス名を右クリックして、Delete View [ビューを削除]を選択します。

お気に入り名を修正する

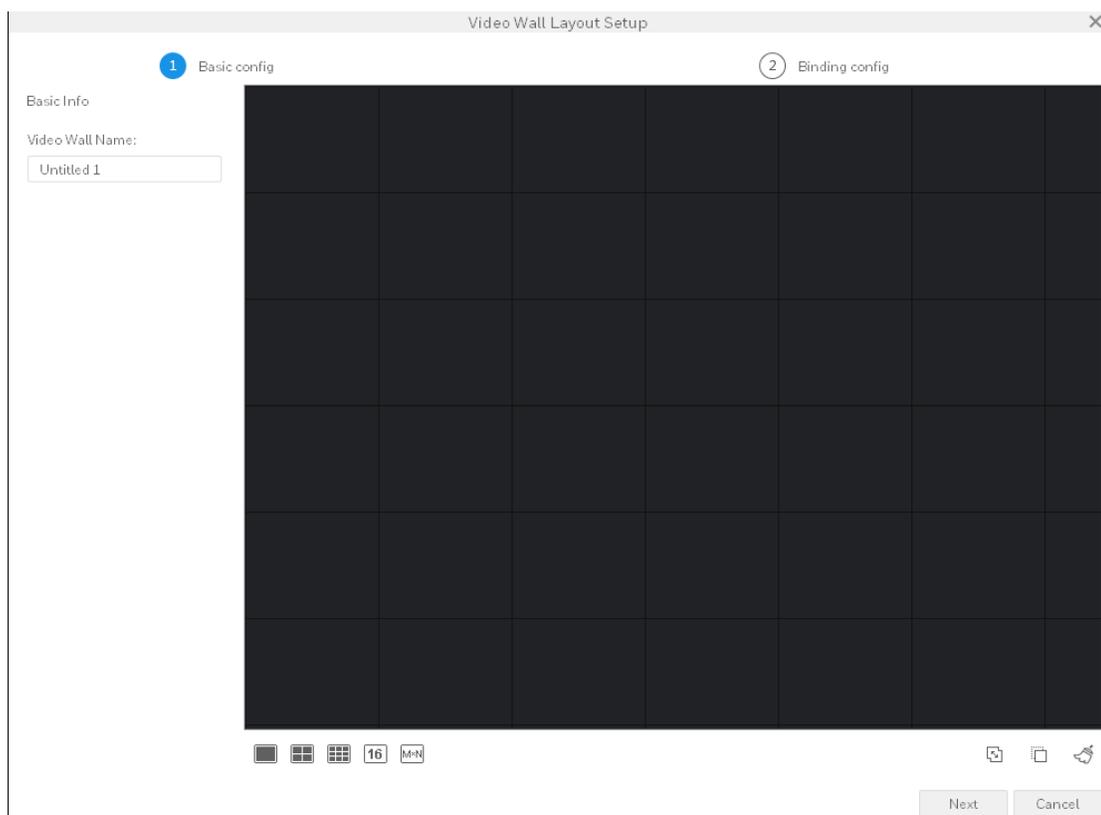
図7-1にあるお気に入り名を右クリックして Change Favorite Name [お気に入り名の変更]を選択します。

ビデオウォールと出力をセットする

ビデオウォールを設定する前に、デコーダが正しく追加されているか確認します。

1. 図7-1の  をクリックし、 をクリックします。下記のインターフェースが表示されます。

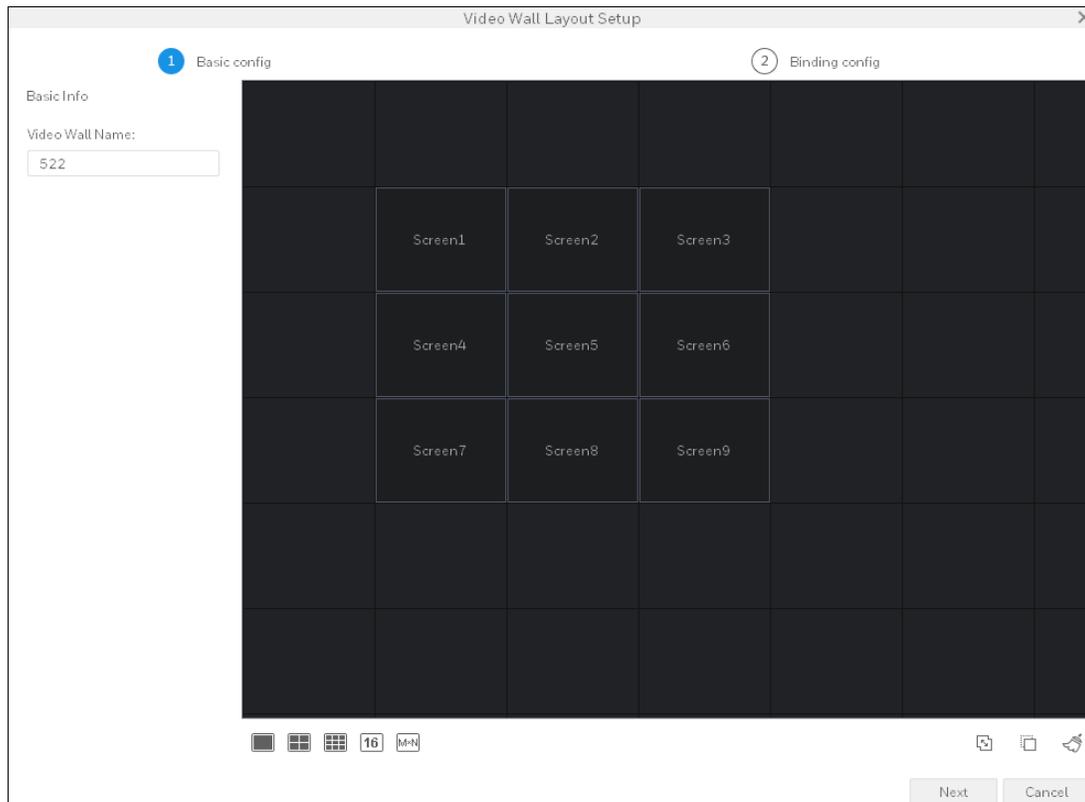
図 7-5



2. 左ペインの video wall name [ビデオウォール名]を入力します。
3. ビデオウォールレイアウトをセットします。

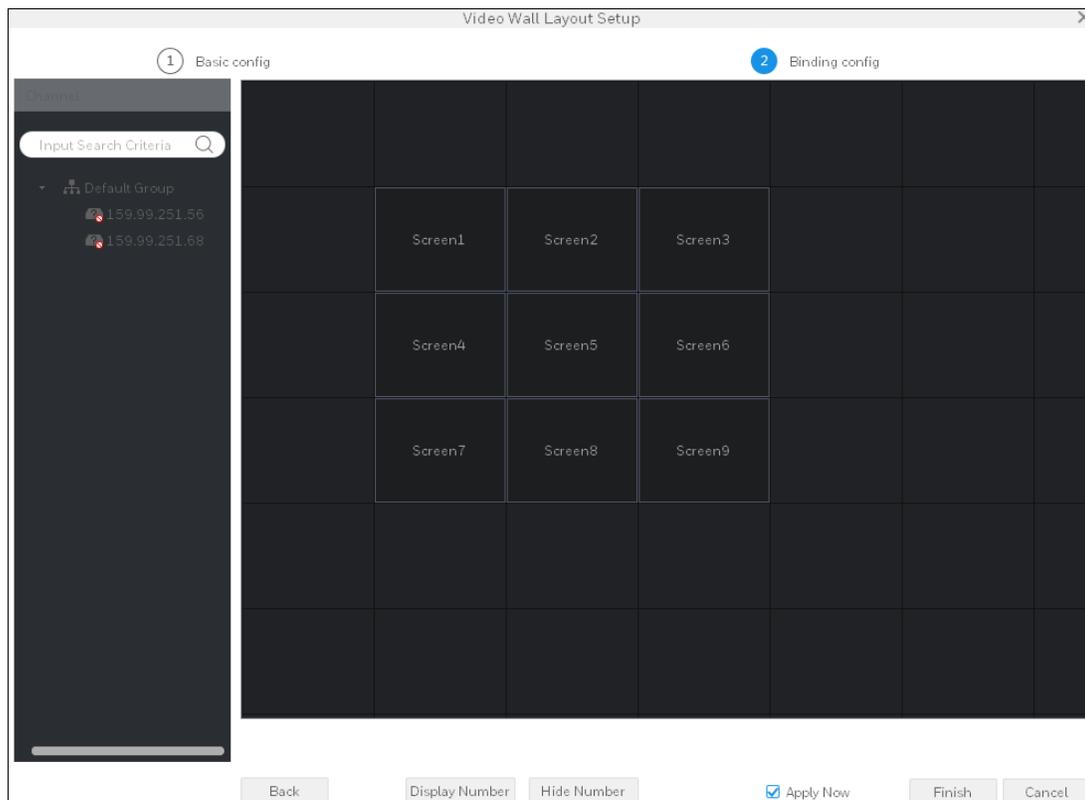
- a. スクリーンの数を選択するには      をクリックします。そしてスクリーンを望みの場所に置くにはウィンドウの任意の箇所をクリックします。個々のスクリーンをドラッグしてレイアウトを設定できます。

図 7-6



- スクリーンが隣通しになるようスクリーンを接合させるには  をクリックします。
 - スクリーンの接合をキャンセルするには  をクリックします。
 - すべてのスクリーンとレイアウトを取り除くには  をクリックします。
4. **Next [次へ]**をクリックします。下記のウィンドウが表示されます：

図 7-7



5. 左ペインのエンコーダをスクリーンにドラッグします。残りのエンコーダとスクリーンを纏めるにはこの操作を繰り返します。
 - スクリーン番号を表示するには、**Display Number [表示番号]**をクリックします。
 - スクリーン番号を隠すには、**Hide Number [番号を隠す]**をクリックします。
 - スクリーンをデコーダに解放するには、スクリーンを右クリックして **Cancel Binding [結合をキャンセル]**を選択します。
6. 設定を直ぐに適用するには **Apply Now [直ぐに適用]**をクリックすると、インターフェースはビデオウォールに変わります。設定を完了するには **Finish [終了]**をクリックします。

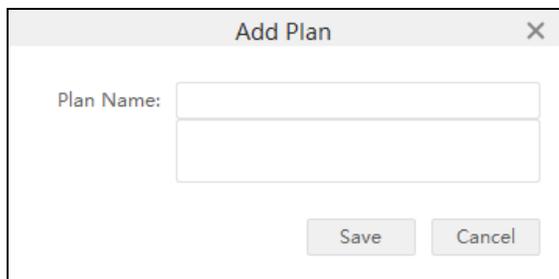
ツアーを設定する

ツアーをセットアップするには下記のステップを実行します。

1. [図7-1](#)にあるビデオウォールレイアウトを選択し、デバイスに結合します。

2.  をクリックします。下記のウィンドウが表示されます：

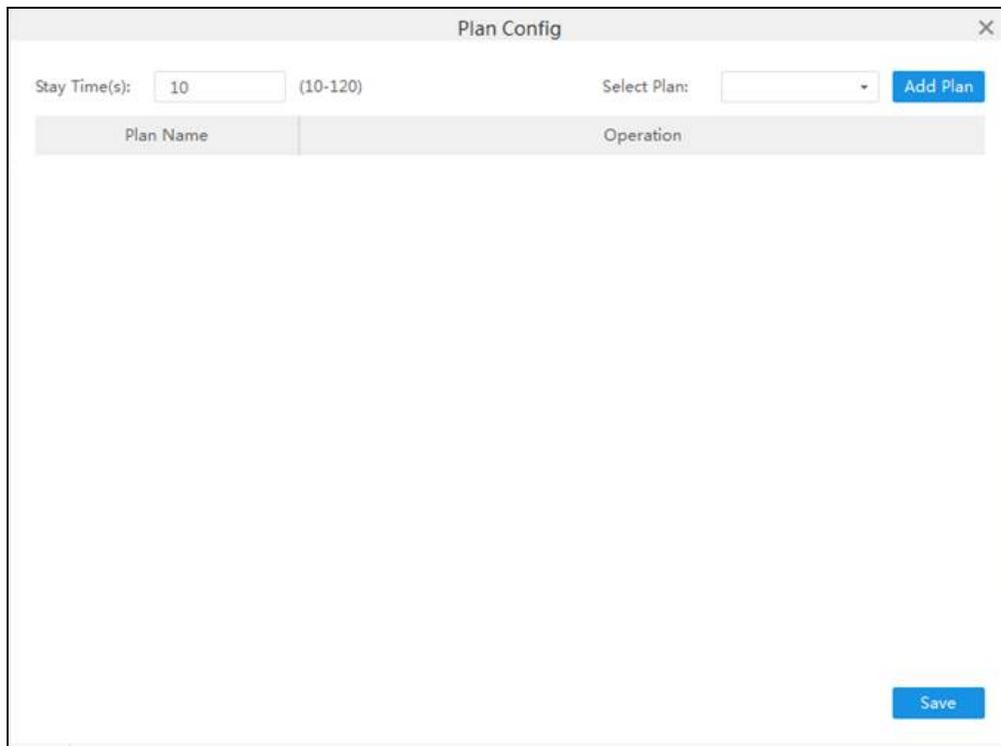
図 7-8



3. plan name [プラン名] を入力して **Save [保存]** をクリックします。

4.  をクリックします。下記のウィンドウが表示されます：

図 7-9



5. 滞在時間をセットして、ドロップダウンリストからプランを選択します。
6. **Add Plan [プラン追加]** をクリックして、**Save [保存]** します。

7. スキームツアーを有効化するには  をクリックし、またはスキームツアーを無効化するには  をクリックします。

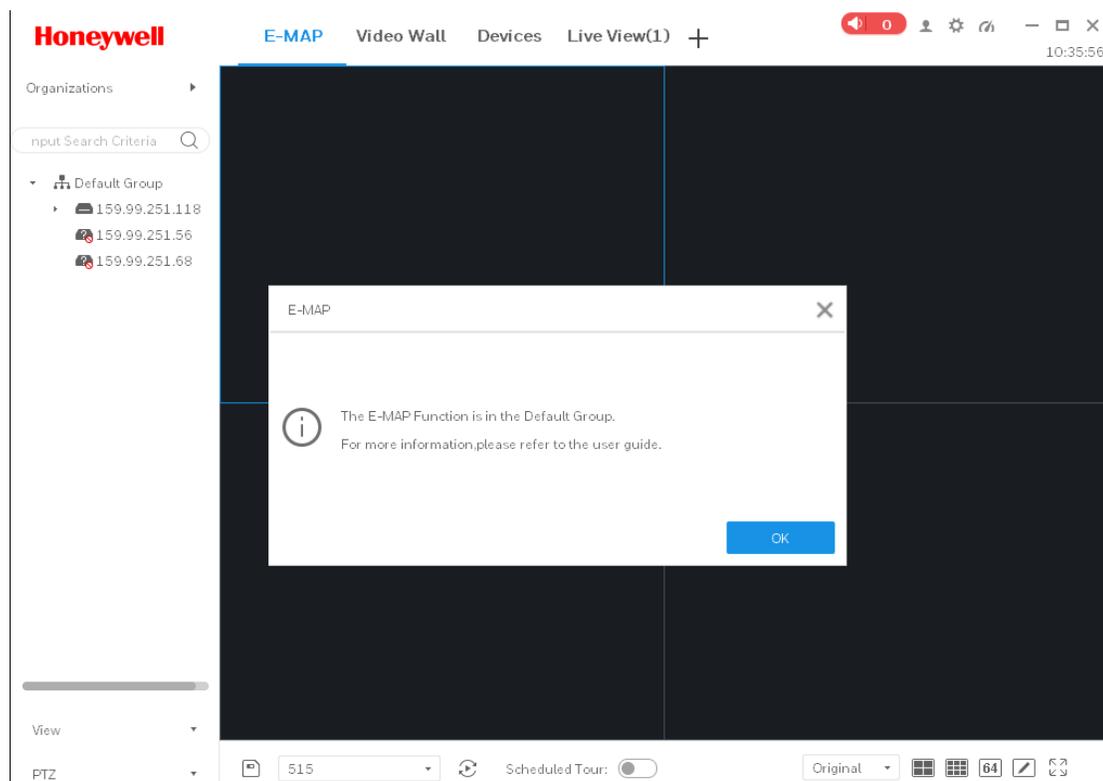
E マップ

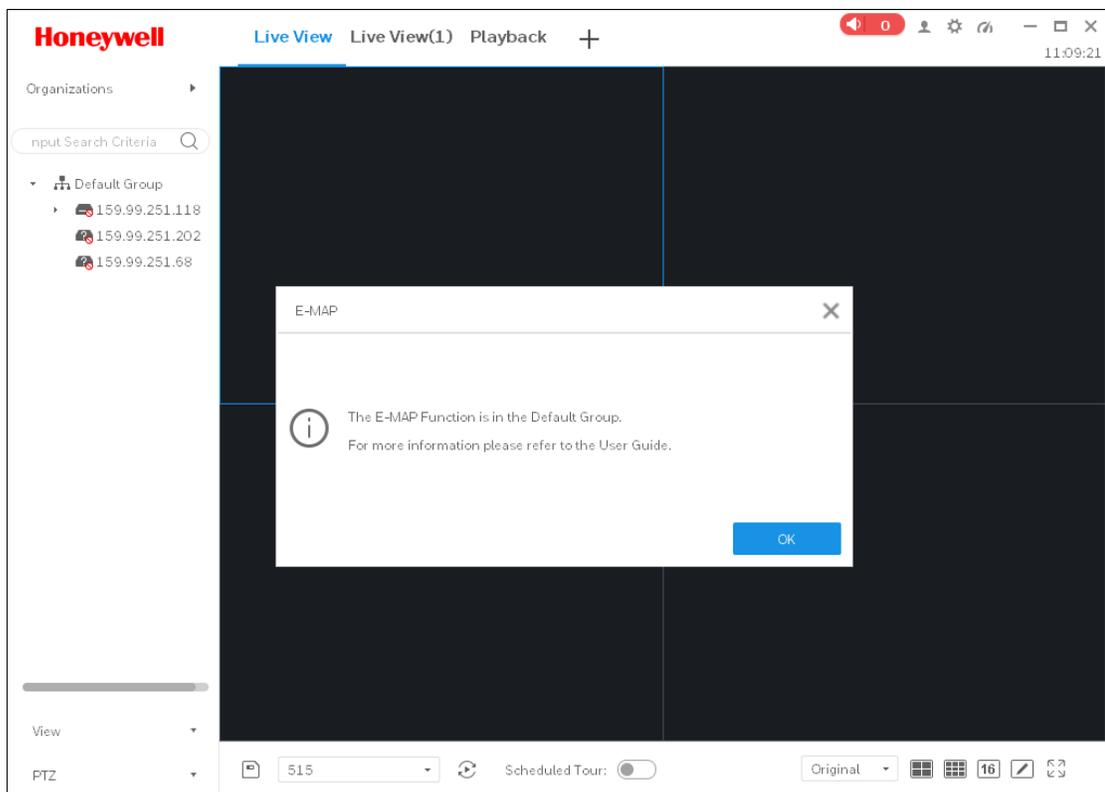
マップ上でデバイス位置とライブビューをチェックすることができます。追加デバイスでアラームが起こった時は、マップにダイナミックな表示があります。



[図3-2](#)にある ADVANCED [アドバンス]ペインの  をクリックして下記のインターフェースに移動します。

図 7-10

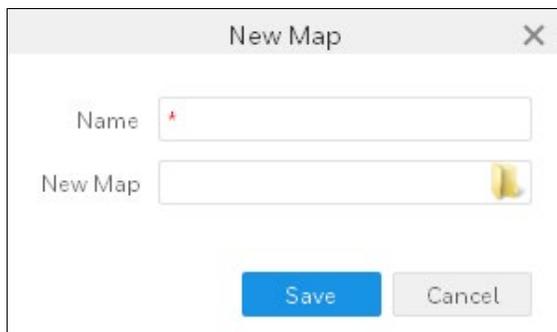




新しい E マップを追加する

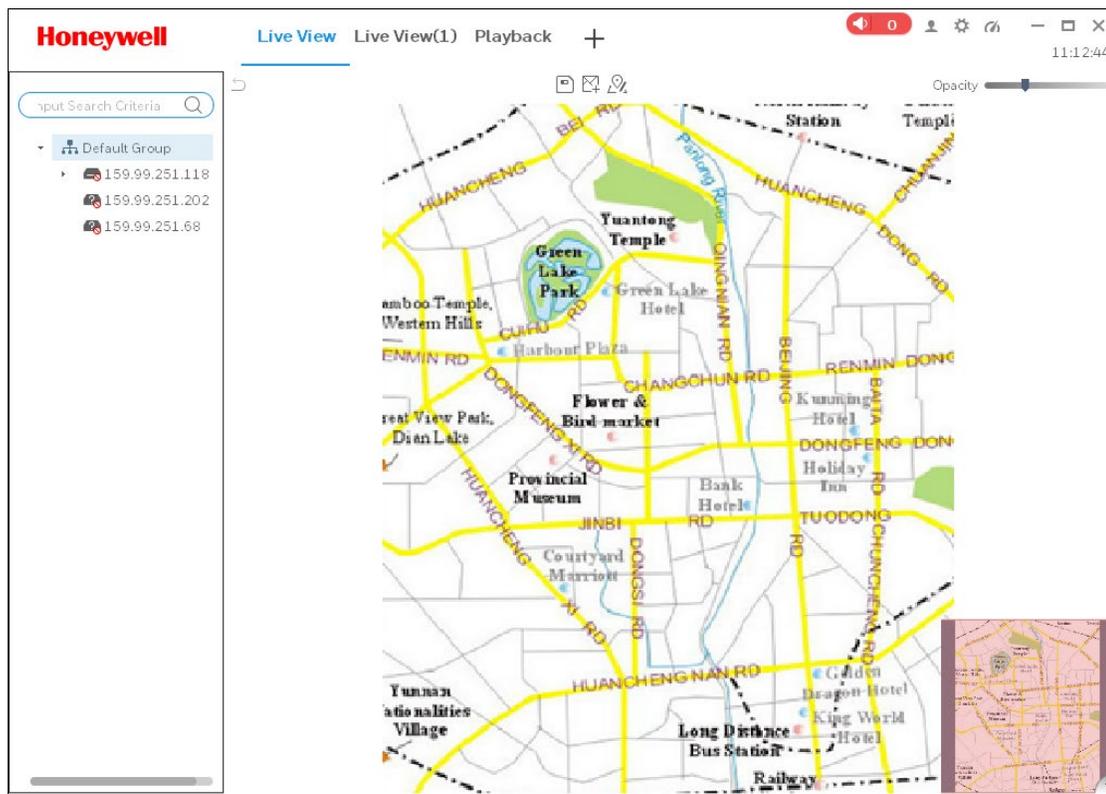
1. 左ペインの Default Group [デフォルトグループ] を右クリックして **New Map [新しいマップ]** を選択します。下記のウィンドウが表示されます：

図 7-11



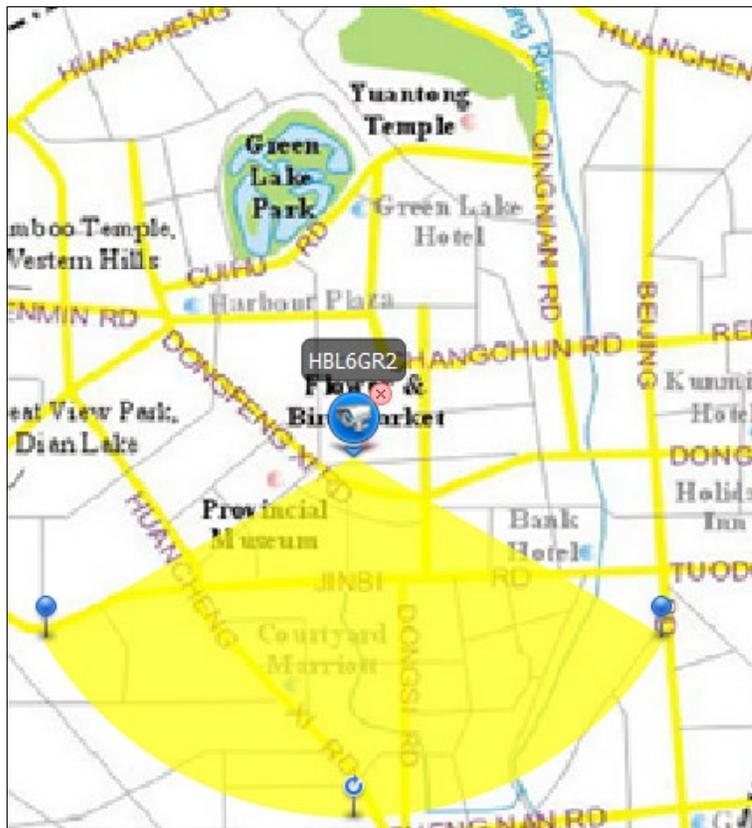
2. 名前を入力して画像を選びます。
3. **Save [保存]** をクリックします。下記のウィンドウが表示されます：

図 7-12



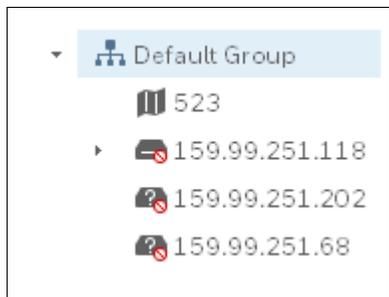
- 透明性を調整するには Opacity  をクリックします。
 - トップビューを折りたたむには右下角の  をクリックします。そしてトップビューを拡大するには  をクリックします。
4. [図7-12](#)の左のペインでデバイスをマップにドラッグします。

図 7-13



5. モニタリング範囲を調整するには、📍をドラッグします。
6. このEマップを保存するには📁をクリックします。新たに追加されたEマップは左ペインのデフォルトグループに表示されます。

図 7-14

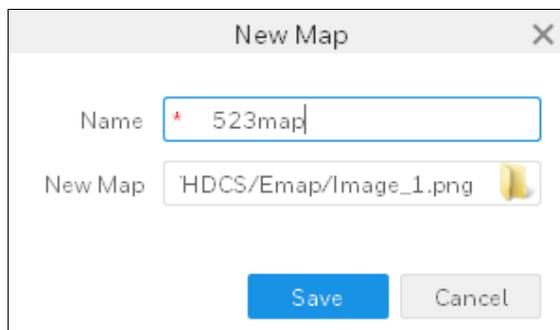


E マップを修正する

マップを変更する

マップを新しいマップに変更するには、[図7-12](#)にある  をクリックします。

図 7-15

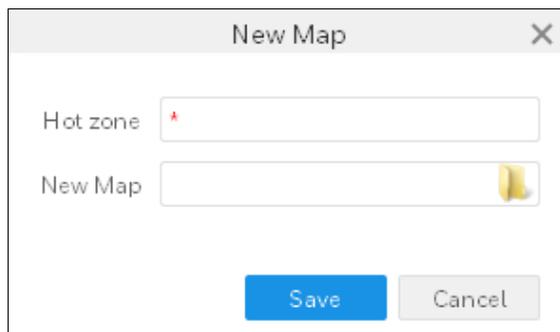


The screenshot shows a dialog box titled "New Map" with a close button (X) in the top right corner. It contains two input fields: "Name" with a red asterisk and the text "523map", and "New Map" with the text "HDCS/Emap/Image_1.png" and a folder icon. At the bottom, there are two buttons: "Save" (blue) and "Cancel" (grey).

新しいホットゾーンを追加する

1. 新しいホットゾーンを追加するには、[図7-12](#)にある  をクリックします。

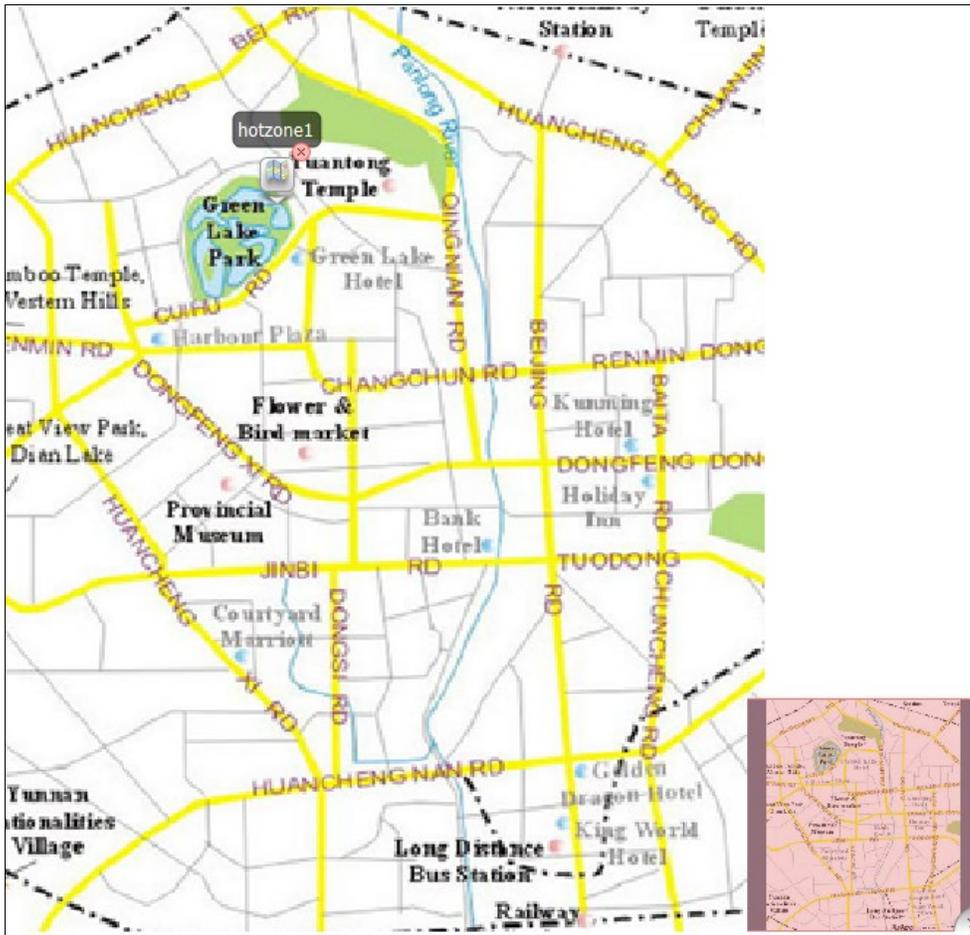
図 7-16



The screenshot shows a dialog box titled "New Map" with a close button (X) in the top right corner. It contains two input fields: "Hot zone" with a red asterisk and an empty text box, and "New Map" with an empty text box and a folder icon. At the bottom, there are two buttons: "Save" (blue) and "Cancel" (grey).

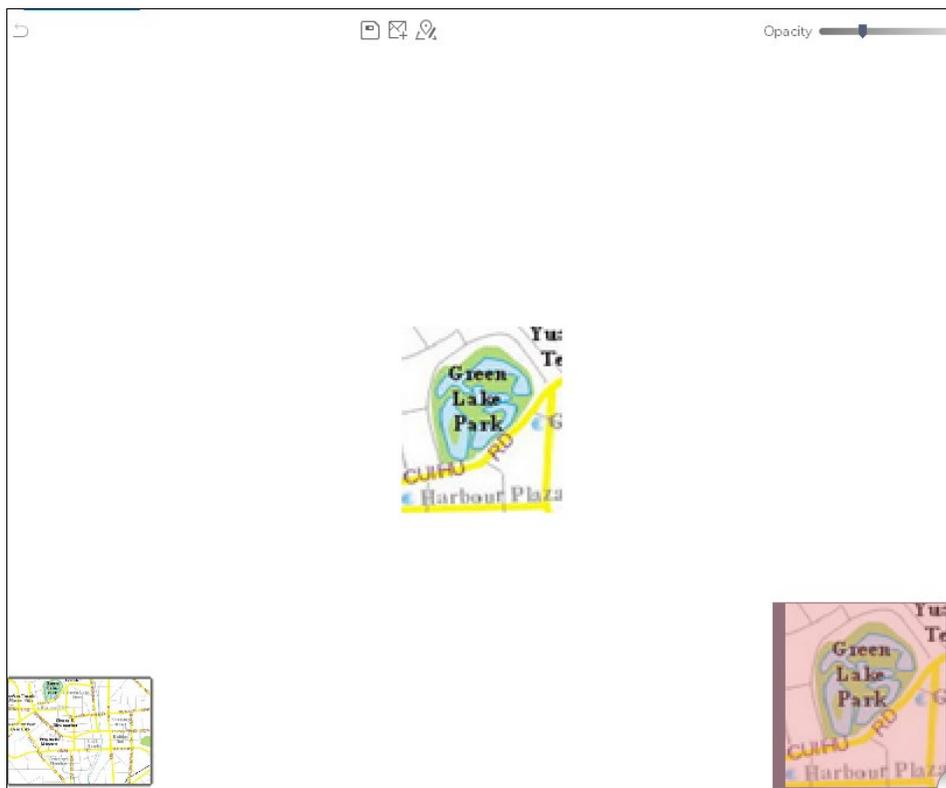
2. ホットゾーンの名前を入力して、ホットゾーンの写真を選択します。Save [保存]をクリックします。下記のウィンドウが表示されます：

図 7-17



マップを示すにはホットゾーンアイコンをダブルクリックします。

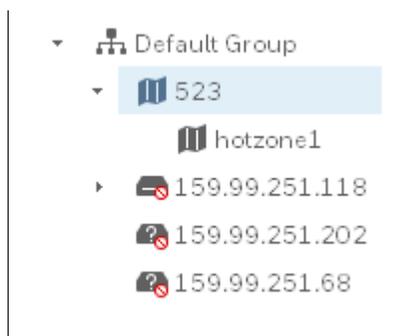
図 7-18



E マップに切り替えるには、左下角の E マップサムネイルをクリックします。

3. 新しいホットゾーンは左ペインの E マップフォルダに表示されます。

図 7-19



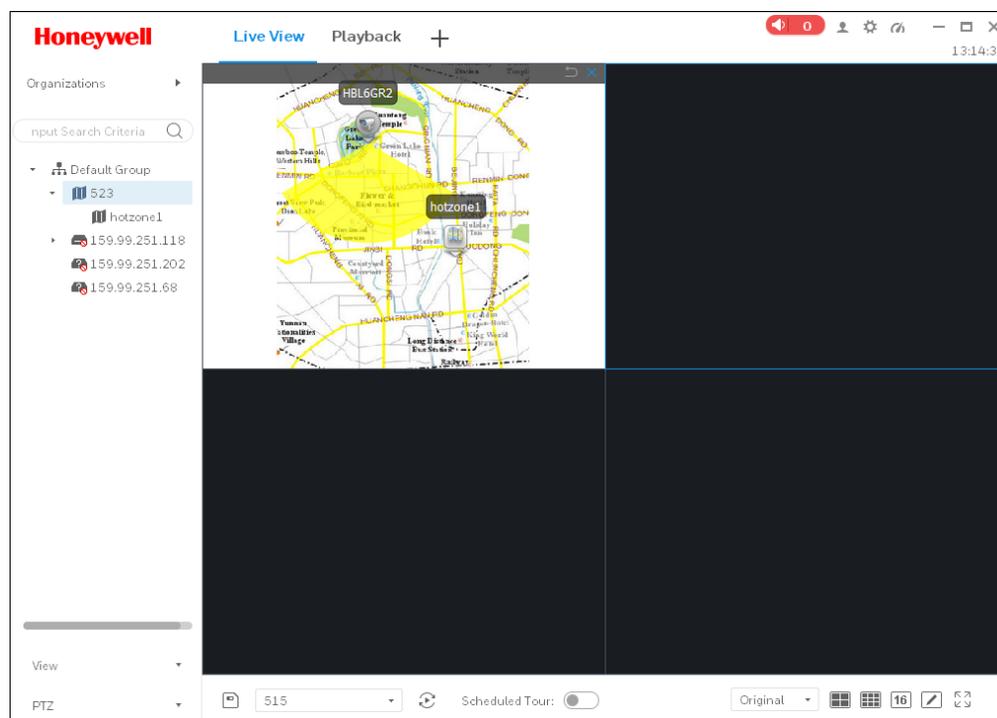
E マップを削除する

図7-20 にある E マップ名を右クリックして、Delete [削除]を選択します。

E マップのライブビュー

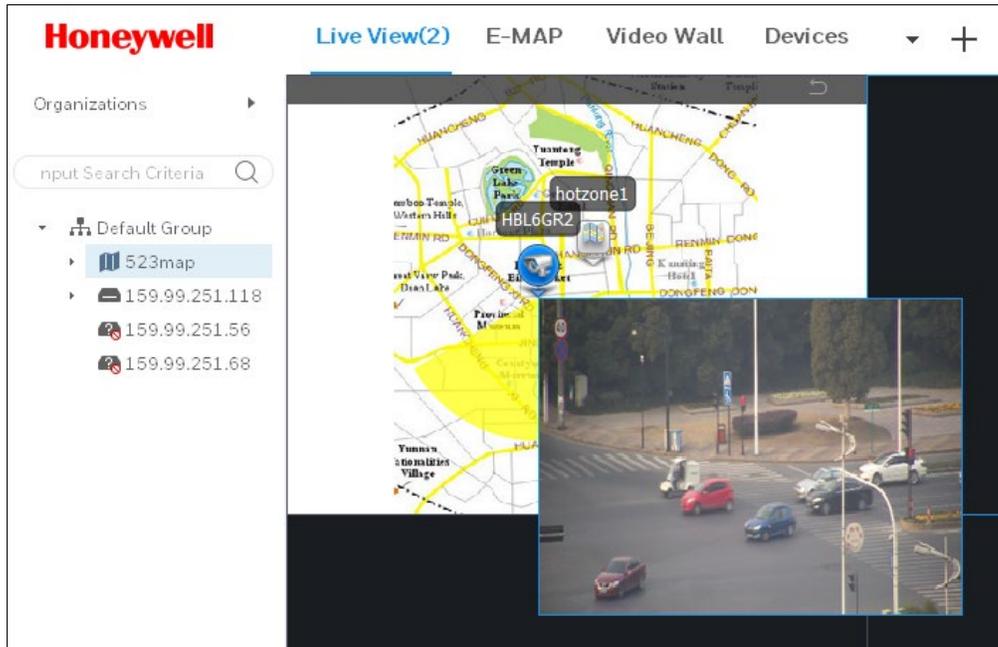
1. デフォルトグループから E マップをドラッグしてライブビューインターフェースのウィンドウに置きます。

図 7-20



2. 映像をポップアップウィンドウで見るにはマップ上のカメラアイコンをクリックします。

図 7-21



**Honeywell Security Products Americas
(Head Office)**

2700 Blankenbaker Pkwy, Suite 150
Louisville, KY 40299, USA
www.honeywell.com/security
+1 800 323 4576

Honeywell Security Europe/South Africa

Aston Fields Road, Whitehouse Industrial
Estate Runcorn, WA7 3DL,
United Kingdom
www.honeywell.com/security/uk
+44 (0) 1928 754 028

**Honeywell Security Products Americas
Caribbean/Latin America**

9315 NW 112th Ave.
Miami, FL 33178, USA
www.honeywell.com/security/clar
+1 305 805 8188

Honeywell Security Asia Pacific

Building #1, 555 Huanke Road,
Zhang Jiang Hi-Tech Park, Pudong New
Area, Shanghai, 201203, China
www.asia.security.honeywell.com
+86 400 840 2233

Honeywell Security Middle East/N.Africa

Emaar Business Park, Sheikh Zayed Road
Building No. 2, Office No. 301
Post Office Box 232362 Dubai,
United Arab Emirates
www.honeywell.com/security/me
+971 (0) 4 450 5800

Honeywell Security Northern Europe

Ampèrestraat 41
1446 TR Purmerend,
The Netherlands
www.honeywell.com/security/nl
+31 (0) 299 410 200

Honeywell Security Deutschland

Johannes-Mauthe-Straße 14
72458 Albstadt,
Germany
www.honeywell.com/security/de
+49 (0) 7431 801-0

Honeywell Security France

Immeuble Lavoisier
Parc de Haute Technologie 3-7 rue Georges
Besse 92160 Antony, France
www.honeywell.com/security/fr
+33 (0) 1 40 96 20 50

Honeywell Security Italia SpA

Via della Resistenza 53/59
20090 Buccinasco
Milan, Italy
www.honeywell.com/security/it
+39 (0) 2 4888 051

Honeywell Security España

Avenida de Italia, nº 7, 2a planta
C.T.Coslada
28821 Coslada, Madrid, Spain
www.honeywell.com/security/es
+34 902 667 800

Honeywell

www.honeywell.com/security

+1 800 323 4576 (North America only)

<https://www.honeywellsystems.com/ss/techsupp/index.html>

文書 800-24464 改訂 A – 2018 年 7 月

©2018 Honeywell International Inc. 無断複写・転載を禁じます。Honeywell の書面による許諾なく本書のいかなる部分も転載することはできません。本書の情報は、あらゆる点で正確であると考えられます。しかしながら、Honeywell は、その使用に起因するいかなる結果についても責任を負いかねます。ここに記載されている情報は予告なく変更されることがあります。そのような変更を記載するために、本書の改訂または新版が発行されることがあります。